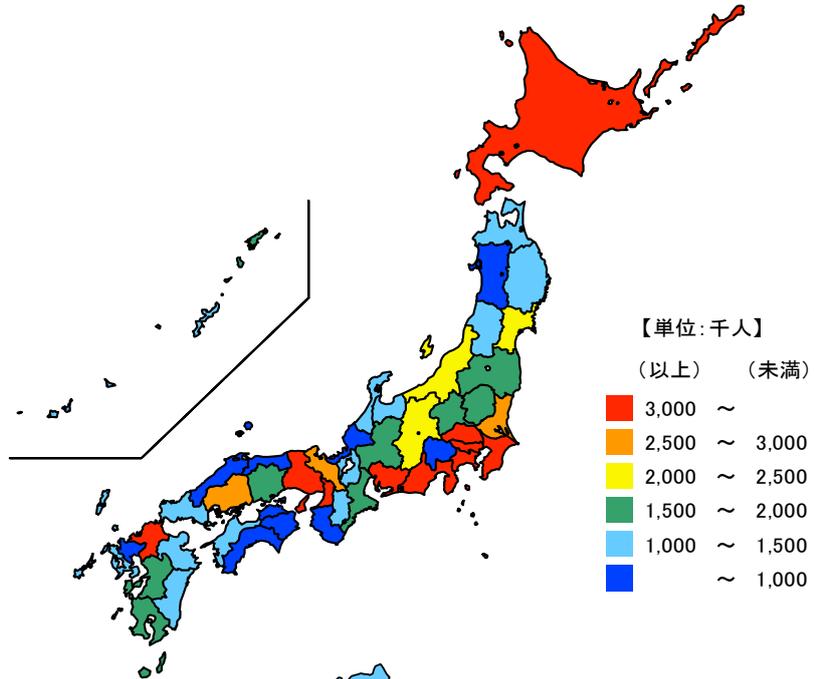


## ● 総人口

令和2年10月1日

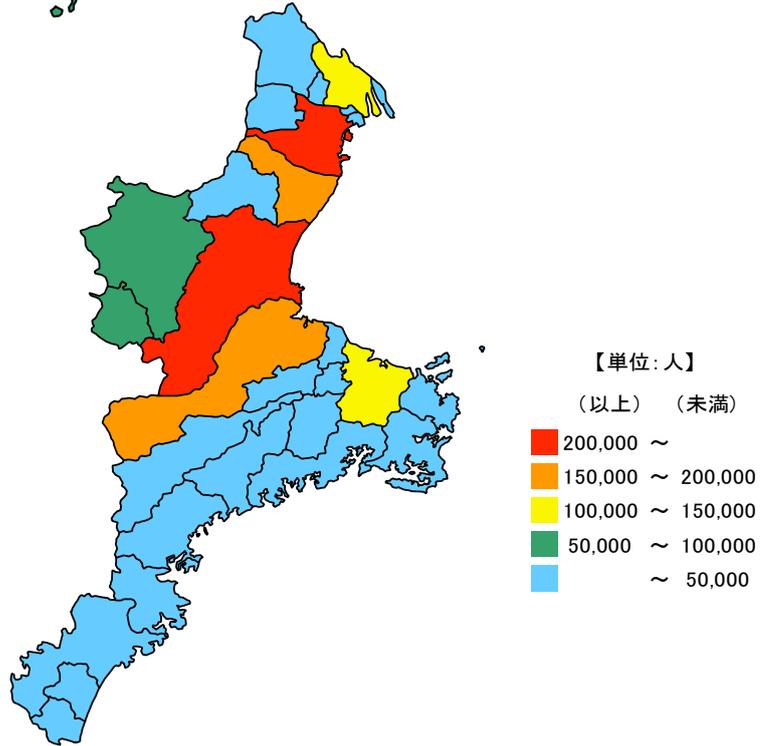
単位：千人

都道府県	値	順位
全 国	126,146	
東京都	14,048	1
神奈川県	9,237	2
大阪府	8,838	3
愛知県	7,542	4
埼玉県	7,345	5
三重県	1,770	22
福井県	767	43
徳島県	720	44
高知県	692	45
島根県	671	46
鳥取県	553	47



単位：人

市 町	値	順位
四日市市	305,424	1
津 市	274,537	2
鈴 鹿 市	195,670	3
松 阪 市	159,145	4
桑 名 市	138,613	5
伊 勢 市	122,765	6
伊 賀 市	88,766	7
名 張 市	76,387	8
亀 山 市	49,835	9
志 摩 市	46,057	10
いなべ市	44,973	11
菰 野 町	40,559	12
東 員 町	25,784	13
明 和 町	22,445	14
鳥 羽 市	17,525	15
尾 鷲 市	16,252	16
熊 野 市	15,965	17
川 越 町	15,123	18
玉 城 町	15,041	19
紀 北 町	14,604	20
多 気 町	14,021	21
朝 日 町	11,021	22
南伊勢町	10,989	23
紀 宝 町	10,321	24
大 台 町	8,668	25
御 浜 町	8,079	26
度 会 町	7,847	27
大 紀 町	7,815	28
木 曽 岬 町	6,023	29
三 重 県	1,770,254	



総務省「国勢調査」による令和2年10月1日現在の三重県の総人口は約177万人で、全国順位は22位となっています。

県内では、四日市市、津市、鈴鹿市の順に多く、10万人以上の上位6市で県全体の約68%を占めています。

## 【資料出所】

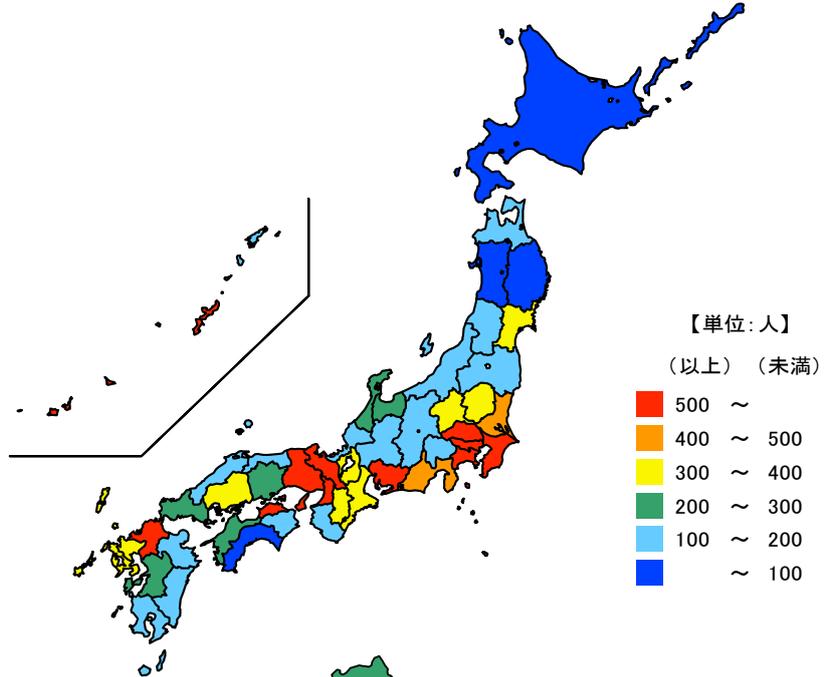
総務省統計局「国勢調査」

● 人口密度(面積1km<sup>2</sup>当たり)

令和2年10月1日

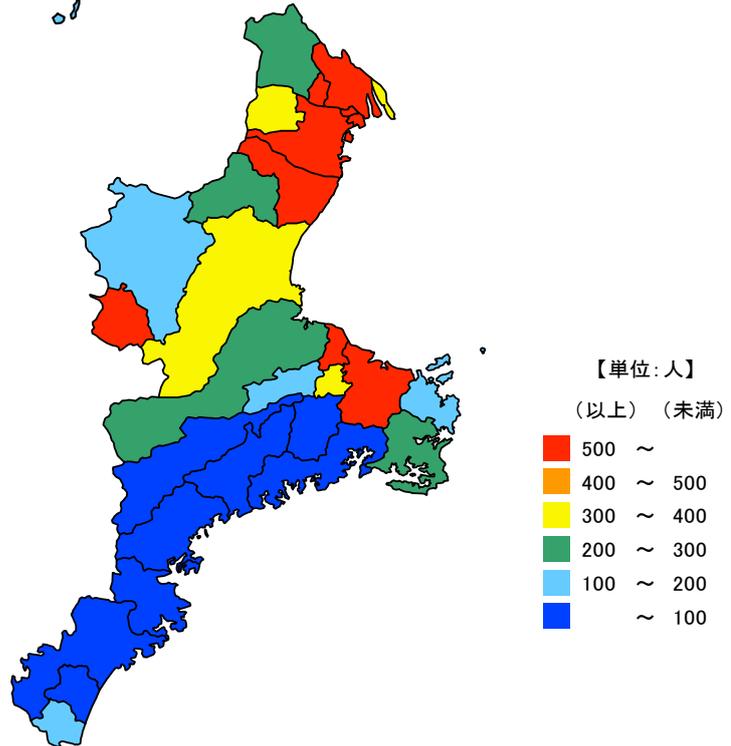
単位：人

都道府県	値	順位
全 国	338.2	
東 京 都	6,402.6	1
大 阪 府	4,638.4	2
神 奈 川 県	3,823.2	3
埼 玉 県	1,934.0	4
愛 知 県	1,458.0	5
三 重 県	306.6	20
島 根 県	100.1	43
高 知 県	97.3	44
秋 田 県	82.4	45
岩 手 県	79.2	46
北 海 道	66.6	47



単位：人

市 町	値	順位
朝 日 町	1,839.9	1
川 越 町	1,732.3	2
四 日 市 市	1,478.9	3
東 員 町	1,136.9	4
桑 名 市	1,014.1	5
鈴 鹿 市	1,006.2	6
伊 勢 市	589.2	7
名 張 市	588.6	8
明 和 町	546.9	9
津 市	386.0	10
木 曾 岬 町	382.7	11
菰 野 町	379.0	12
玉 城 町	367.7	13
亀 山 市	260.9	14
志 摩 市	257.4	15
松 阪 市	255.2	16
いなべ市	204.6	17
鳥 羽 市	163.3	18
伊 賀 市	159.0	19
多 気 町	136.0	20
紀 宝 町	129.6	21
御 浜 町	91.7	22
尾 鷲 市	84.3	23
度 会 町	58.1	24
紀 北 町	56.9	25
南 伊 勢 町	45.4	26
熊 野 市	42.8	27
大 紀 町	33.5	28
大 台 町	23.9	29



令和2年10月1日現在の三重県の人口密度は306.6人で、全国順位は20位となっています。

県内では、朝日町、川越町、四日市市の順に高く、6市町が1,000人を超えています。一方、大台町、大紀町、熊野市等が低くなっています。

## 【資料出所】

総務省統計局「国勢調査」

# 03

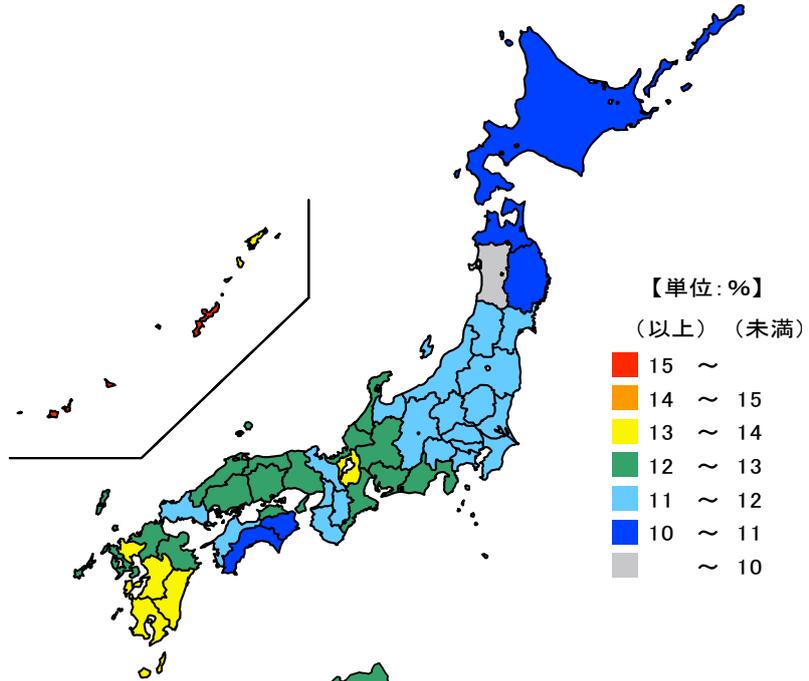
## 年少人口割合

### ● 年少人口(15歳未満人口)割合

令和2年10月1日

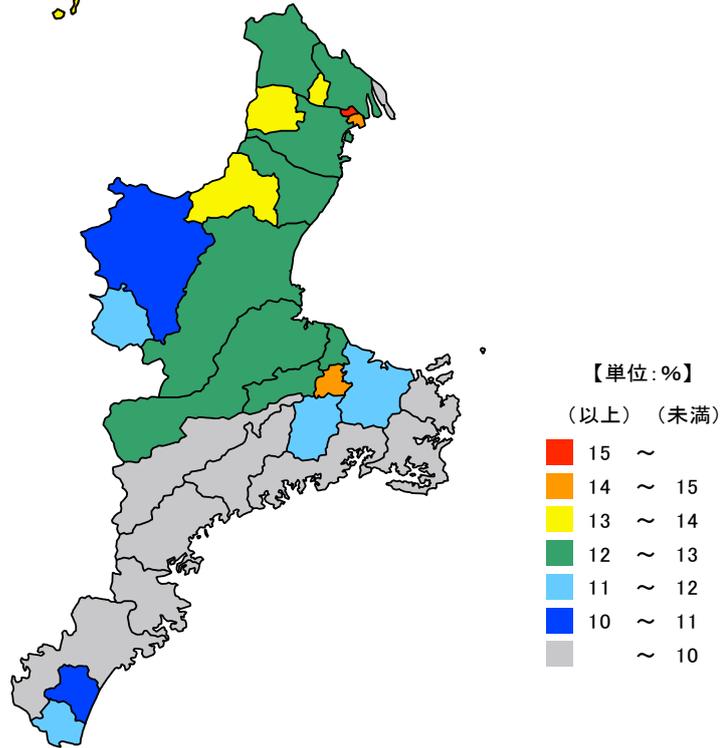
単位：％

都道府県	値	順位
全 国	11.9	
沖 縄 県	16.6	1
滋 賀 県	13.6	2
佐 賀 県	13.5	3
熊 本 県	13.2	4
宮 崎 県	13.1	5
三 重 県	12.1	21
徳 島 県	10.9	43
高 知 県	10.9	44
北 海 道	10.7	45
青 森 県	10.5	46
秋 田 県	9.7	47



単位：％

市 町	値	順位
朝 日 町	18.8	1
川 越 町	14.4	2
玉 城 町	14.0	3
菰 野 町	13.8	4
東 員 町	13.7	5
亀 山 市	13.6	6
明 和 町	12.9	7
桑 名 市	12.9	8
多 気 町	12.5	9
鈴 鹿 市	12.4	10
松 阪 市	12.4	11
四 日 市 市	12.3	12
い な べ 市	12.2	13
津 市 市	12.1	14
名 張 市 市	12.0	15
伊 勢 市 市	11.6	16
紀 宝 町	11.3	17
度 会 町	11.2	18
伊 賀 市 市	10.9	19
御 浜 町	10.6	20
熊 野 市 市	9.6	21
木 曾 岬 町	9.5	22
大 台 町	9.3	23
鳥 羽 市 市	9.1	24
志 摩 市 市	8.7	25
尾 鷲 市 市	8.7	26
紀 北 町	8.0	27
大 紀 町	7.2	28
南 伊 勢 町	5.9	29



令和2年10月1日現在の三重県の年少人口割合は12.1%で、  
全国順位は21位となっています。

県内では、朝日町、川越町、玉城町の順に高く、南伊勢町、大紀町、紀北町等で低くなっています。

【資料出所】 総務省統計局「国勢調査」

【備考】

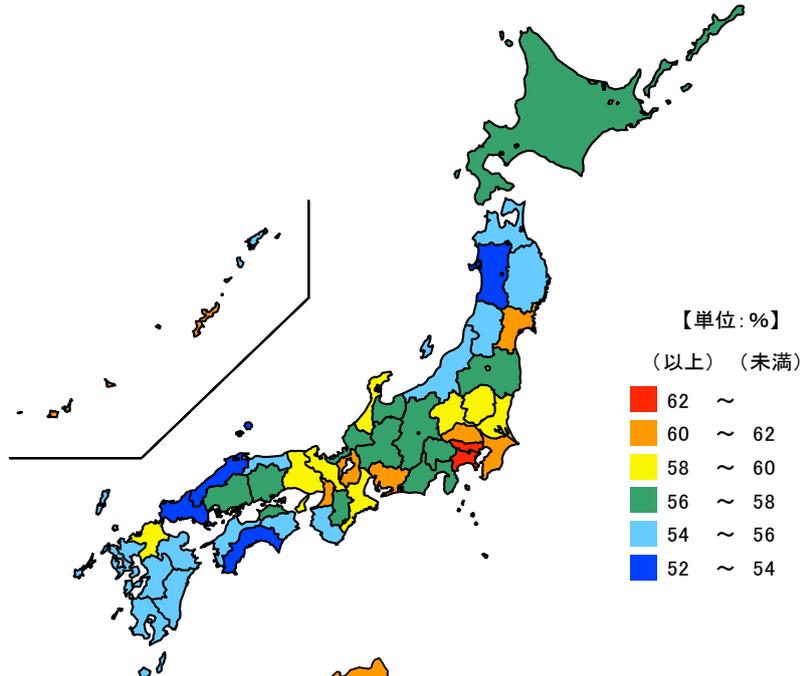
集計結果(原数値)に含まれる「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」による。

## ● 生産年齢人口(15~64歳人口)割合

令和2年10月1日

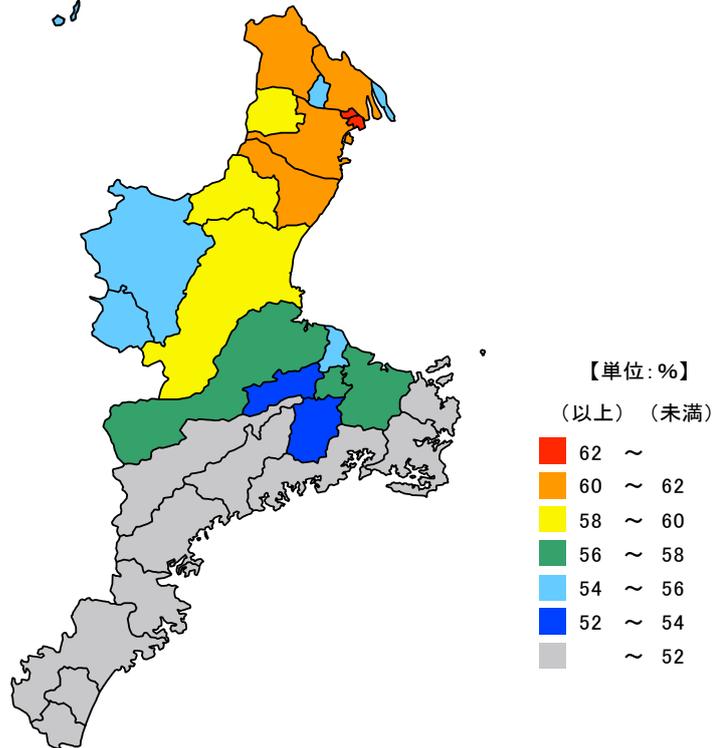
単位：％

都道府県	値	順位
全 国	59.5	
東京都	66.1	1
神奈川県	62.7	2
愛知県	61.7	3
埼玉県	61.1	4
沖縄県	60.8	5
三重県	58.0	17
宮崎県	54.3	43
山口県	53.9	44
高知県	53.6	45
島根県	53.6	46
秋田県	52.8	47



単位：％

市 町	値	順位
川越町	66.8	1
朝日町	62.0	2
四日市市	61.7	3
鈴鹿市	61.6	4
いなべ市	60.4	5
桑名市	60.0	6
菟野町	59.7	7
亀山市	59.4	8
津市	58.3	9
玉城町	57.6	10
松阪市	57.4	11
伊勢市	56.3	12
明和町	55.8	13
木曾岬町	55.8	14
伊賀市	55.7	15
名張市	55.4	16
東員町	55.3	17
多気町	52.8	18
度会町	52.7	19
鳥羽市	51.3	20
紀宝町	51.2	21
志摩市	50.1	22
御浜町	48.5	23
大台町	47.3	24
尾鷲市	46.4	25
紀北町	46.0	26
熊野市	45.8	27
大紀町	42.4	28
南伊勢町	40.5	29



令和2年10月1日現在の三重県の実年齢人口割合は58.0%で、全国順位は17位となっています。

県内では、川越町、朝日町、四日市市の順に高く、県南部地域は全般的に低くなっています。

【資料出所】 総務省統計局「国勢調査」

【備考】

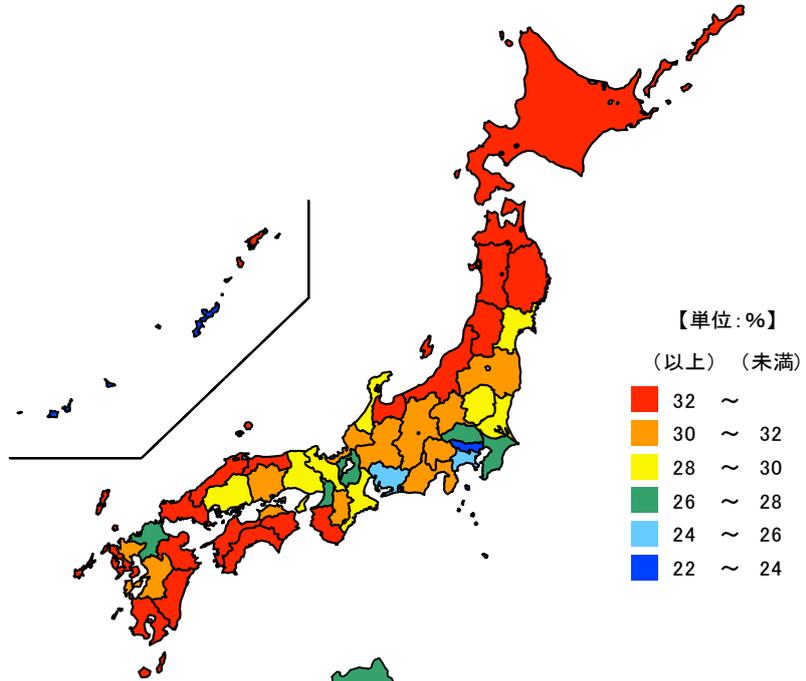
集計結果(原数値)に含まれる「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」による。

## ● 老年人口(65歳以上人口)割合

令和2年10月1日

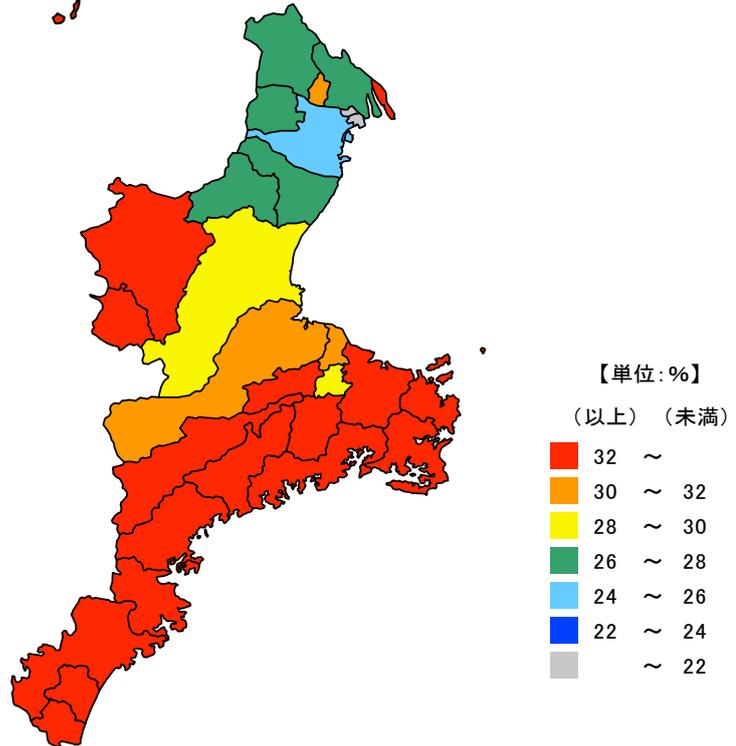
単位：％

都道府県	値	順位
全 国	28.6	
秋 田 県	37.5	1
高 知 県	35.5	2
山 口 県	34.6	3
島 根 県	34.2	4
徳 島 県	34.2	5
三 重 県	29.9	31
滋 賀 県	26.3	43
神 奈 川 県	25.6	44
愛 知 県	25.3	45
東 京 都	22.7	46
沖 縄 県	22.6	47



単位：％

市 町	値	順位
南伊勢町	53.6	1
大紀町	50.4	2
紀北町	46.0	3
尾鷲市	44.9	4
熊野市	44.7	5
大台町	43.4	6
志摩市	41.2	7
御浜町	40.9	8
鳥羽市	39.5	9
紀宝町	37.5	10
度会町	36.2	11
木曾岬町	34.7	12
多気町	34.7	13
伊賀市	33.4	14
名張市	32.6	15
伊勢市	32.1	16
明和町	31.3	17
東員町	31.1	18
松阪市	30.2	19
津市	29.6	20
玉城町	28.4	21
いなべ市	27.4	22
桑名市	27.1	23
亀山市	27.0	24
菟野町	26.4	25
鈴鹿市	26.0	26
四日市市	26.0	27
朝日町	19.2	28
川越町	18.9	29



令和2年10月1日現在の三重県の老年人口割合は29.9%で、  
全国順位は31位となっています。

県内では、南伊勢町、大紀町、紀北町の順に高く、県南部地域の8市町は40%以上となっています。

【資料出所】 総務省統計局「国勢調査」

【備考】

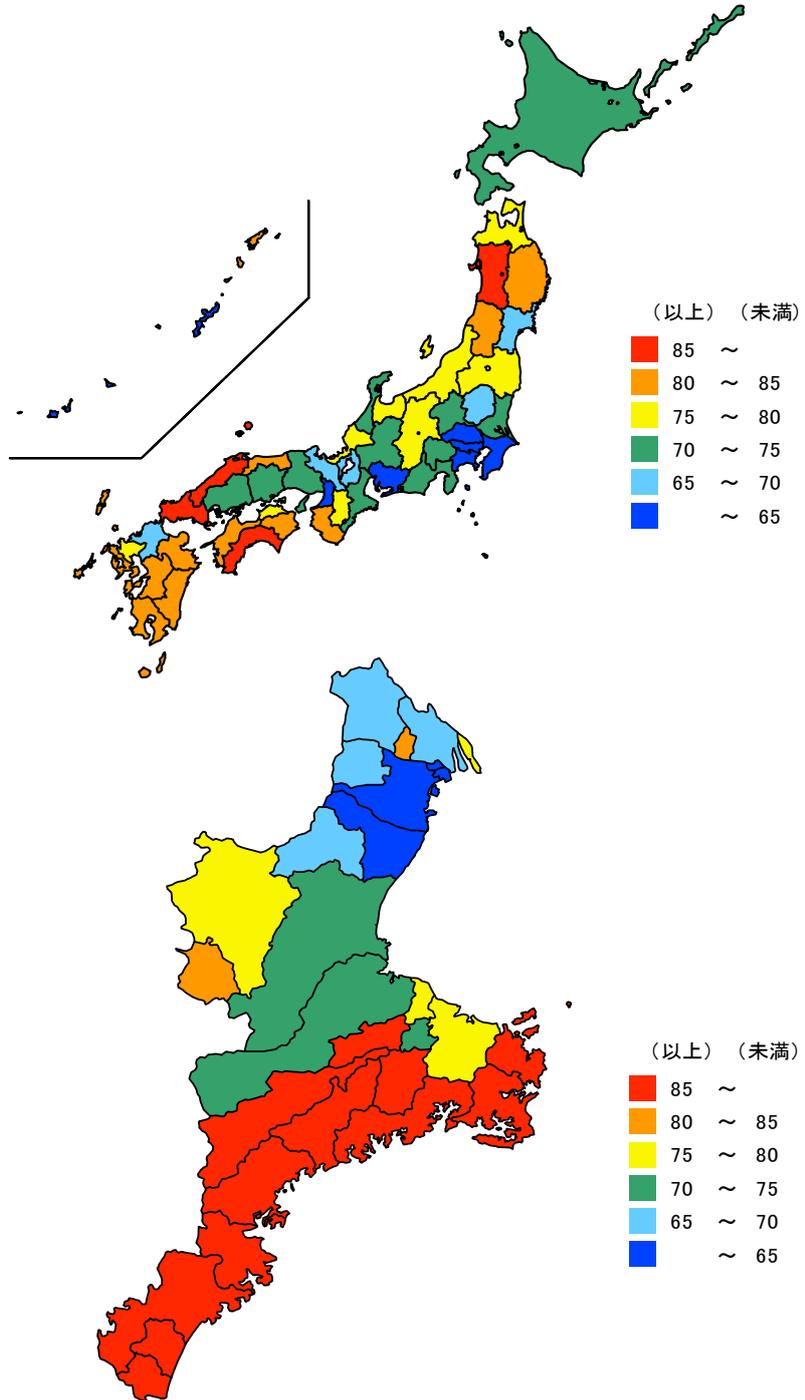
集計結果(原数値)に含まれる「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」による。

## ● 従属人口指数

令和2年10月1日

都道府県	値	順位
全 国	68.0	
秋 田 県	89.3	1
島 根 県	86.6	2
高 知 県	86.4	3
山 口 県	85.5	4
宮 崎 県	84.3	5
三 重 県	72.3	31
沖 縄 県	64.5	43
埼 玉 県	63.6	44
愛 知 県	62.0	45
神 奈 川 県	59.5	46
東 京 都	51.3	47

市 町	値	順位
南伊勢町	146.8	1
大紀町	135.9	2
熊野市	118.5	3
紀北町	117.2	4
尾鷲市	115.5	5
大台町	111.5	6
御浜町	106.3	7
志摩市	99.7	8
紀宝町	95.3	9
鳥羽市	94.8	10
度会町	89.9	11
多気町	89.3	12
東員町	80.9	13
名張市	80.5	14
伊賀市	79.5	15
木曾岬町	79.3	16
明和町	79.3	17
伊勢市	77.6	18
松阪市	74.2	19
玉城町	73.7	20
津 市	71.7	21
亀山市	68.3	22
菰野町	67.4	23
桑名市	66.6	24
いなべ市	65.7	25
鈴鹿市	62.3	26
四日市市	62.0	27
朝日町	61.2	28
川越町	49.8	29



令和2年10月1日現在の三重県の従属人口指数は72.3で、全国順位は31位となっています。

県内では、南伊勢町、大紀町、熊野市など、7市町が100を超えており、そのあとも県南部地域の市町が続いています。

## 【資料出所】

総務省統計局「国勢調査」

## 【備考】

従属人口指数は、労働年齢層の負担を表す指標。計算方法は以下のとおり。

(「15歳未満人口」+「65歳以上人口」)÷「15～64歳人口」×100

集計結果に含まれる「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」による。

## ● 人口増減率

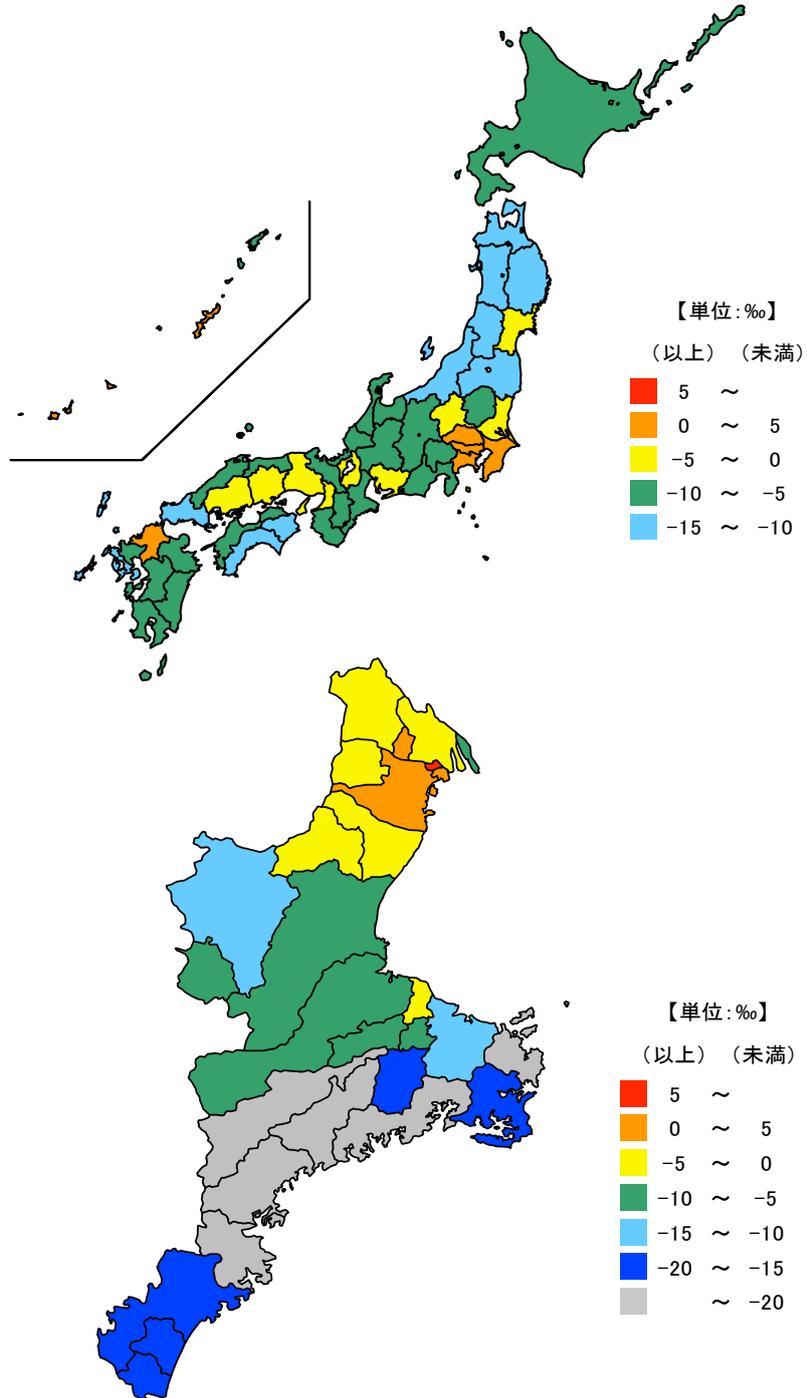
令和元年10月～令和2年9月

単位：‰

都道府県	値	順位
全 国	△ 3.2	
沖 縄 県	4.1	1
東 京 都	2.9	2
神 奈 川 県	1.4	3
埼 玉 県	0.4	4
千 葉 県	0.3	5
三 重 県	△ 6.9	27
高 知 県	△ 11.1	42
長 崎 県	△ 11.1	42
徳 島 県	△ 11.3	44
青 森 県	△ 11.6	45
岩 手 県	△ 12.3	46
秋 田 県	△ 13.0	47

単位：‰

市 町	値	順位
朝 日 町	8.7	1
東 員 町	2.7	2
四 日 市 市	0.8	3
川 越 町	0.4	4
菰 野 町	△ 2.6	5
明 和 町	△ 3.0	6
亀 山 市	△ 3.0	7
鈴 鹿 市	△ 3.2	8
いなべ市	△ 4.8	9
桑 名 市	△ 5.0	10
玉 城 町	△ 5.7	11
津 市	△ 7.3	12
松 阪 市	△ 8.8	13
多 気 町	△ 9.4	14
名 張 市	△ 9.8	15
木 曾 岬 町	△ 9.9	16
伊 勢 市	△ 10.0	17
伊 賀 市	△ 14.4	18
度 会 町	△ 15.5	19
紀 宝 町	△ 15.5	20
熊 野 市	△ 16.8	21
御 浜 町	△ 18.5	22
志 摩 市	△ 19.3	23
大 台 町	△ 23.4	24
尾 鷲 市	△ 24.1	25
大 紀 町	△ 27.2	26
南 伊 勢 町	△ 29.6	27
鳥 羽 市	△ 30.3	28
紀 北 町	△ 32.7	29



令和元年10月から令和2年9月の三重県の人口増減率は6.9‰の減少で、増減率の全国順位は27位となっています。県内では、朝日町の増加率が最も大きく、ほかに3市町が増加しています。一方、25市町では減少しています。

## 【資料出所】

全国・都道府県：総務省統計局「人口推計」（補間補正人口）

三重県市町：三重県戦略企画部統計課「推計人口」

## 【算出方法】

人口増減（前年10月～当年9月）÷前年10月1日現在総人口×1,000

【備考】‰は千分率

## ● 自然増減率

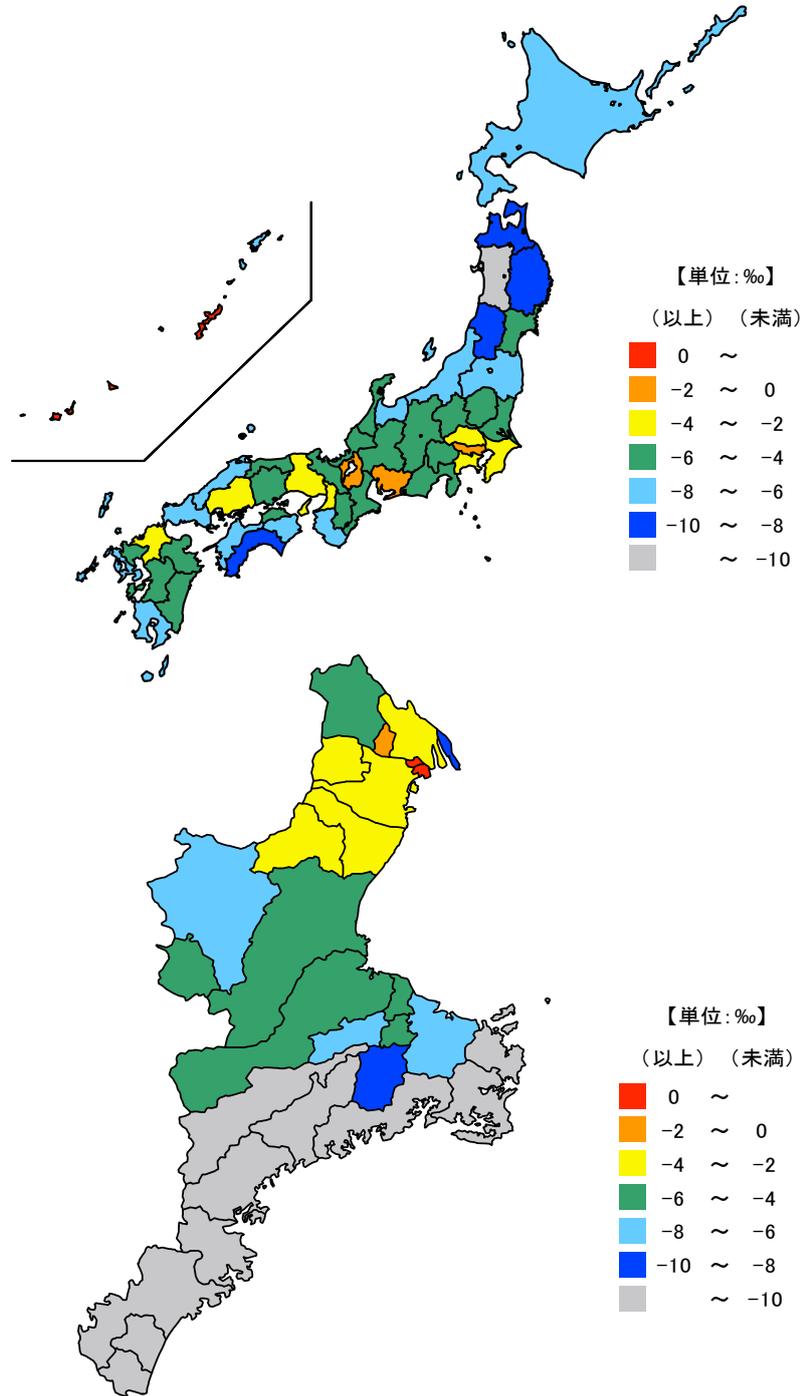
令和元年10月～令和2年9月

単位：‰

都道府県	値	順位
全 国	△ 4.0	
沖 縄 県	1.9	1
東 京 都	△ 1.2	2
愛 知 県	△ 1.6	3
滋 賀 県	△ 1.6	3
神 奈 川 県	△ 2.2	5
三 重 県	△ 5.0	20
山 形 県	△ 8.2	43
岩 手 県	△ 8.5	44
高 知 県	△ 8.5	44
青 森 県	△ 8.7	46
秋 田 県	△ 11.3	47

単位：‰

市 町	値	順位
川 越 町	2.3	1
朝 日 町	2.2	2
東 員 町	△ 1.0	3
鈴 鹿 市	△ 2.1	4
菰 野 町	△ 2.6	5
四 日 市 市	△ 2.7	6
桑 名 市	△ 3.1	7
亀 山 市	△ 3.9	8
いなべ市	△ 4.6	9
明 和 町	△ 4.8	10
名 張 市	△ 4.9	11
津 市 市	△ 5.0	12
松 阪 市 市	△ 5.1	13
玉 城 町	△ 5.7	14
伊 勢 市 市	△ 6.0	15
多 気 町	△ 7.0	16
伊 賀 市 市	△ 7.8	17
木 曽 岬 町	△ 8.5	18
度 会 町	△ 8.6	19
紀 宝 町	△ 10.3	20
熊 野 市 市	△ 12.1	21
鳥 羽 市 市	△ 12.8	22
志 摩 市 市	△ 13.6	23
大 台 町	△ 13.9	24
尾 鷲 市 市	△ 14.2	25
御 浜 町	△ 14.5	26
南 伊 勢 町	△ 18.6	27
大 紀 町	△ 19.5	28
紀 北 町	△ 19.5	29



令和元年10月から令和2年9月の三重県の自然増減率は5.0‰の減少で、増減率の全国順位は20位となっています。県内では、川越町、朝日町の2町が増加しましたが、27市町は減少しています。

## 【資料出所】

全国・都道府県：総務省統計局「人口推計」(補間補正人口)

三重県市町：三重県戦略企画部統計課「推計人口」

## 【算出方法】

自然増減(前年10月～当年9月)÷前年10月1日現在総人口×1,000 ※自然増減=出生数-死亡者数

【備考】 ‰は千分率

## ● 社会増減率

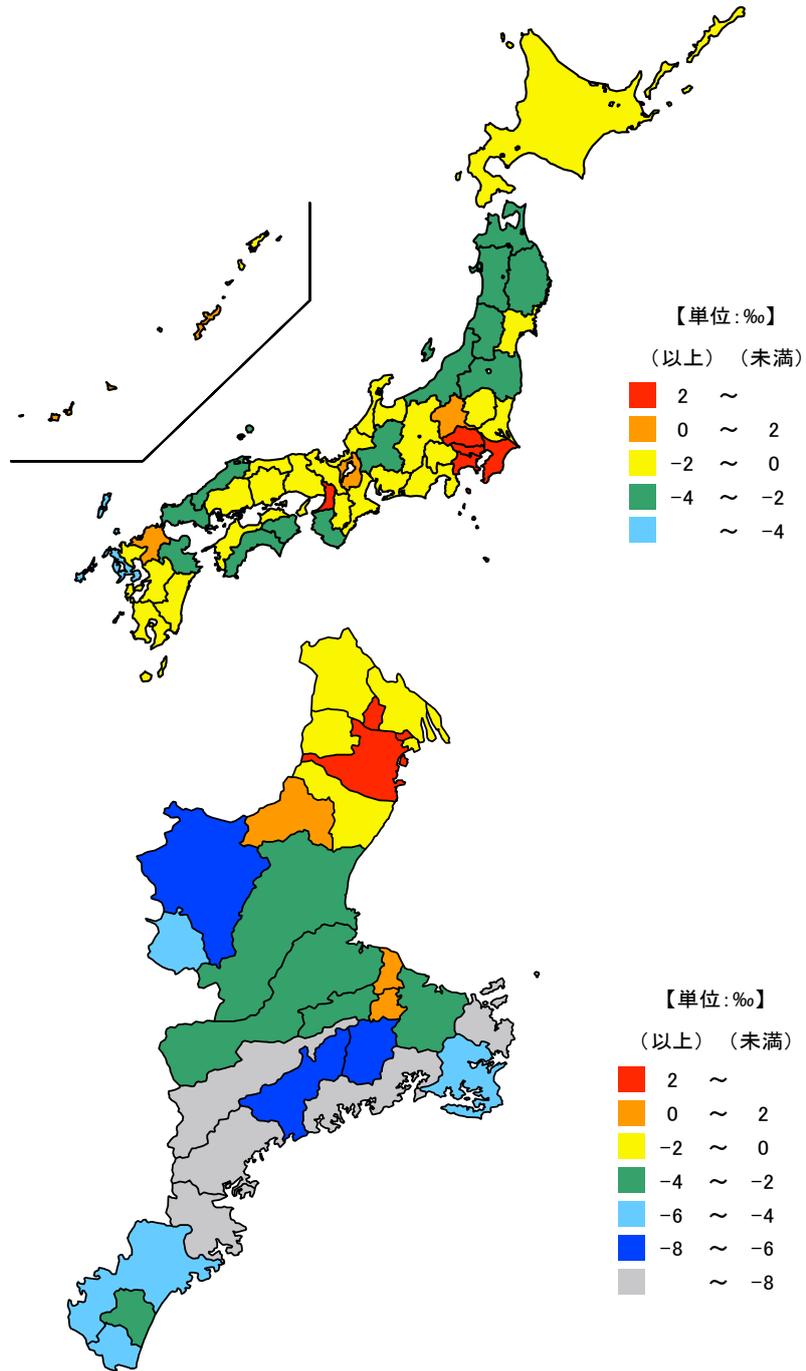
令和元年10月～令和2年9月

単位：‰

都道府県	値	順位
全 国	0.3	
埼 玉 県	3.8	1
神 奈 川 県	3.3	2
千 葉 県	3.0	3
東 京 都	2.8	4
大 阪 府	2.2	5
三 重 県	△ 1.8	29
岩 手 県	△ 3.3	43
福 島 県	△ 3.4	44
和 歌 山 県	△ 3.4	44
青 森 県	△ 3.8	46
長 崎 県	△ 4.6	47

単位：‰

市 町	値	順位
朝 日 町	6.6	1
東 員 町	3.7	2
四 日 市 市	3.5	3
明 和 町	1.9	4
亀 山 市	0.9	5
玉 城 町	0.1	6
菰 野 町	0.0	7
いなべ市	△ 0.2	8
鈴 鹿 市	△ 1.1	9
木 曽 岬 町	△ 1.5	10
川 越 町	△ 1.9	11
桑 名 市	△ 1.9	12
津 市	△ 2.2	13
多 気 町	△ 2.4	14
松 阪 市	△ 3.7	15
御 浜 町	△ 3.9	16
伊 勢 市	△ 4.0	17
熊 野 市	△ 4.7	18
名 張 市	△ 4.9	19
紀 宝 町	△ 5.2	20
志 摩 市	△ 5.8	21
伊 賀 市	△ 6.6	22
度 会 町	△ 6.8	23
大 紀 町	△ 7.7	24
大 台 町	△ 9.4	25
尾 鷲 市	△ 9.9	26
南 伊 勢 町	△ 11.0	27
紀 北 町	△ 13.2	28
鳥 羽 市	△ 17.5	29



令和元年10月から令和2年9月の三重県の社会増減率は1.8‰の減少で、増減率の全国順位は29位となっています。県内では、朝日町、東員町、四日市市等6市町が増加しましたが、23市町は減少しています。

## 【資料出所】

全国・都道府県：総務省統計局「人口推計」(補間補正人口)  
三重県市町：三重県戦略企画部統計課「推計人口」

## 【算出方法】

社会増減(前年10月～当年9月)÷前年10月1日現在総人口×1,000

※社会増減＝全国・都道府県：都道府県間転入超過数＋都道府県別入国超過数

三重県市町：H27年国勢調査を基礎として、住民基本台帳における転出入等の結果から算出

## 【備考】 ‰は千分率

## ● 昼夜間人口比率

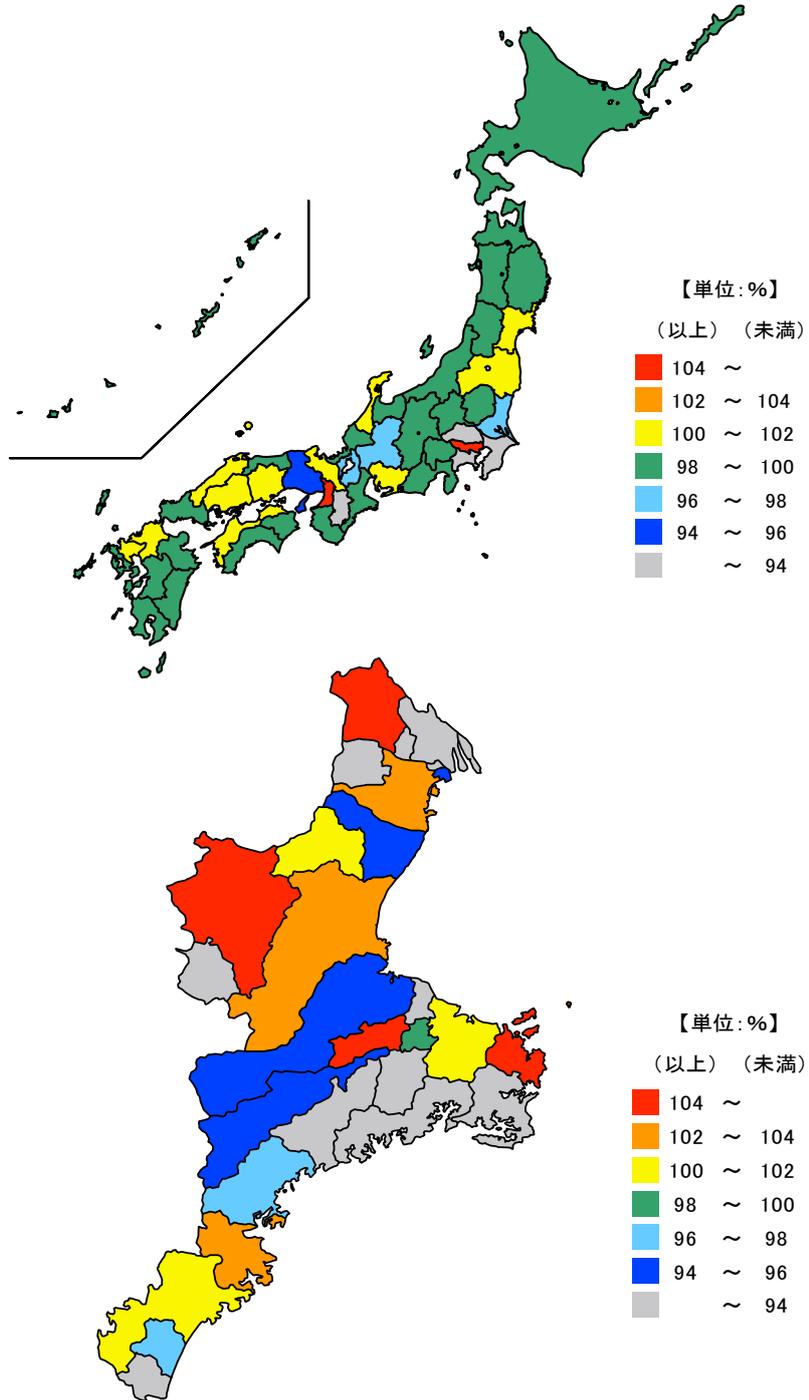
平成27年10月1日

単位：％

都道府県	値	順位
全 国	100.0	
東 京 都	117.8	1
大 阪 府	104.4	2
京 都 府	101.8	3
愛 知 県	101.4	4
宮 城 県	100.3	5
三 重 県	98.3	38
兵 庫 県	95.7	43
神 奈 川 県	91.2	44
奈 良 県	90.0	45
千 葉 県	89.7	46
埼 玉 県	88.9	47

単位：％

市 町	値	順位
いなべ市	108.5	1
鳥羽市	106.1	2
多気町	106.0	3
伊賀市	105.3	4
四日市市	103.6	5
尾鷲市	103.4	6
津市	103.2	7
熊野市	102.0	8
亀山市	101.1	9
伊勢市	100.1	10
玉城町	99.8	11
紀北町	96.4	12
御浜町	96.3	13
大台町	95.5	14
川越町	95.3	15
松阪市	95.2	16
鈴鹿市	94.7	17
志摩市	92.8	18
木曽岬町	92.6	19
桑名市	92.5	20
南伊勢町	92.3	21
大紀町	90.8	22
朝日町	88.6	23
名張市	87.4	24
東員町	86.9	25
明和町	86.9	26
紀宝町	85.8	27
菟野町	85.2	28
度会町	77.8	29



平成27年の三重県の昼夜間人口比率は98.3％で全国順位は38位となっています。

県内ではいなべ市、鳥羽市、多気町の順に高く、10市町が100％を上回っています。一方、度会町、菟野町、紀宝町等は低くなっています。

## 【資料出所】

総務省統計局「国勢調査」

## 【算出方法】

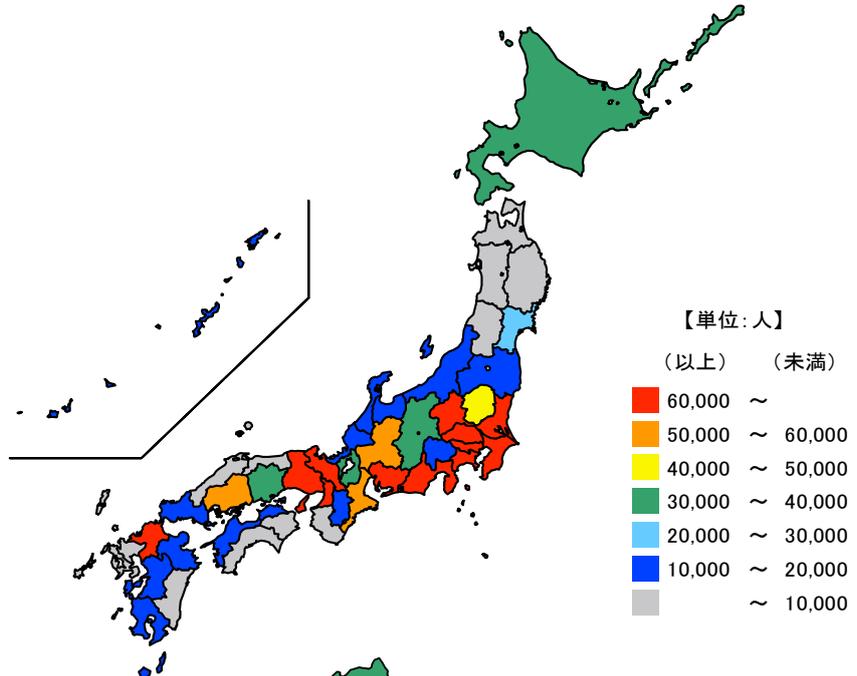
昼間人口÷夜間(常住)人口×100

## ● 在留外国人数(外国人住民数)

令和2年12月31日

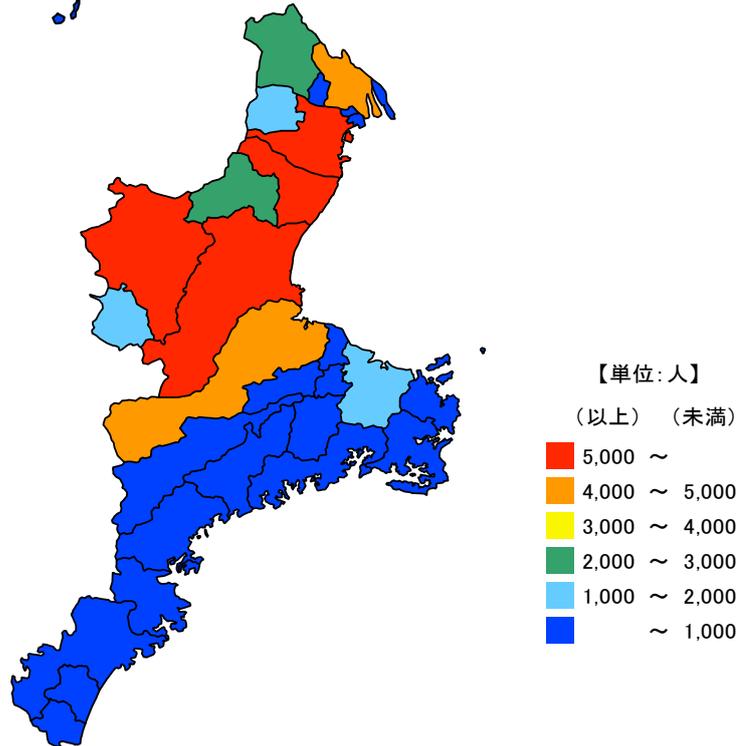
単位：人

都道府県	値	順位
全 国	2,887,116	
東京都	560,180	1
愛知県	273,784	2
大阪府	253,814	3
神奈川県	232,321	4
埼玉県	198,235	5
三重県	55,982	14
徳島県	6,627	43
青森県	6,165	44
鳥取県	4,949	45
高知県	4,832	46
秋田県	4,220	47



単位：人

市 町	値	順位
四日市市	10,618	1
津 市	8,894	2
鈴 鹿 市	8,764	3
伊 賀 市	5,575	4
桑 名 市	4,699	5
松 阪 市	4,556	6
いなべ市	2,130	7
亀 山 市	2,031	8
伊 勢 市	1,155	9
名 張 市	1,046	10
菰 野 町	1,013	11
東 員 町	674	12
川 越 町	620	13
木曾岬町	525	14
志 摩 市	435	15
紀 北 町	340	16
鳥 羽 市	268	17
尾 鷲 市	217	18
明 和 町	216	19
朝 日 町	170	20
玉 城 町	170	20
多 気 町	150	22
熊 野 市	108	23
大 台 町	99	24
紀 宝 町	97	25
大 紀 町	95	26
南伊勢町	89	27
御 浜 町	52	28
度 会 町	48	29
三 重 県	54,854	



法務省「在留外国人統計」による令和2年12月31日の三重県の在留外国人は約5万6千人で、全国順位は14位となっています。県内では、四日市市、津市、鈴鹿市が8千人を超え、続いて伊賀市、桑名市、松阪市が続き、10市1町が千人以上となっています。

## 【資料出所】

全国・都道府県：法務省「在留外国人統計」

三重県市町：三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課「外国人住民国籍・地域別人口調査」

【備考】法務省「在留外国人統計」と県「外国人住民国籍・地域別人口調査」には、対象者の把握方法の違いにより、値に乖離が生じています。

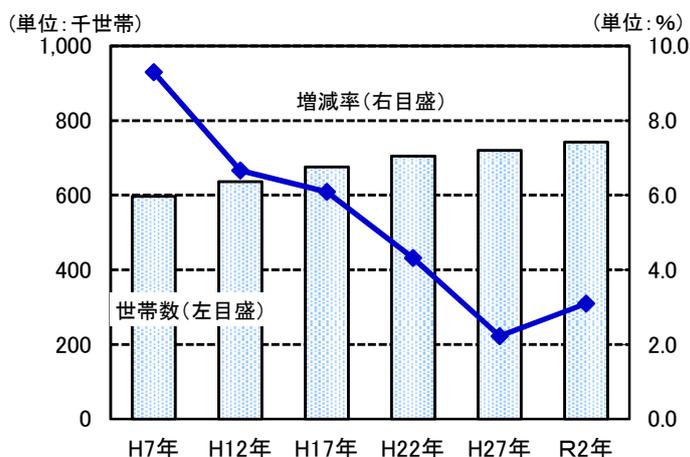
在留外国人統計：在留管理制度に基づく在留外国人（中長期在留者及び特別永住者）数

外国人住民国籍・地域別人口調査：各市町の住民基本台帳に基づく外国人住民数

● 三重県の世帯数及び増減率

各年10月1日

	世帯数	増減率%
H7年	596,909	9.3
H12年	636,682	6.7
H17年	675,459	6.1
H22年	704,607	4.3
H27年	720,292	2.2
R2年	742,598	3.1

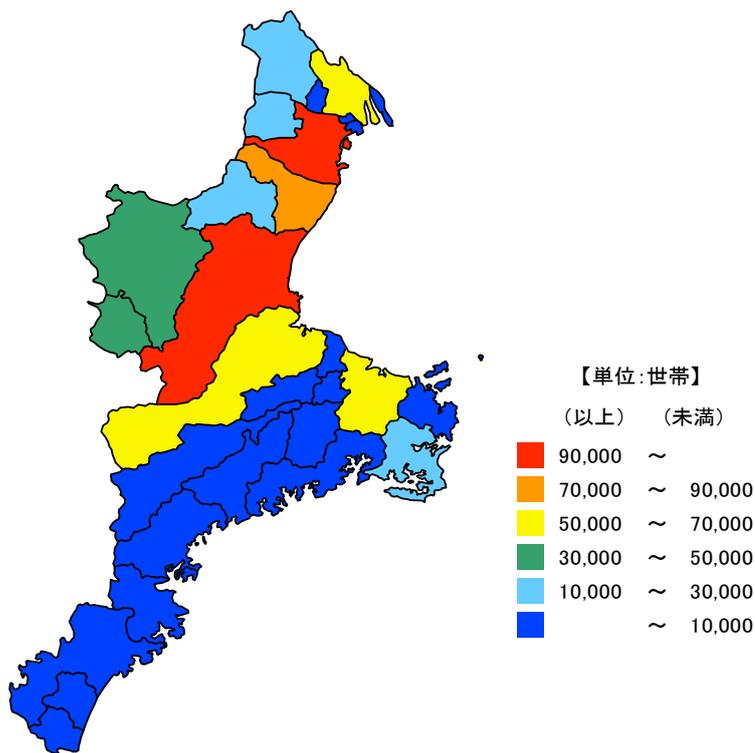


単位：世帯

市 町	値	順位
四日市市	133,331	1
津市	117,663	2
鈴鹿市	82,158	3
松阪市	65,481	4
桑名市	56,362	5
伊勢市	51,580	6
伊賀市	36,615	7
名張市	31,466	8
亀山市	20,617	9
志摩市	19,568	10
いなべ市	18,075	11
菟野町	15,382	12
東員町	9,539	13
尾鷲市	8,153	14
明和町	8,067	15
熊野市	7,751	16
鳥羽市	7,382	17
紀北町	6,814	18
川越町	6,602	19
玉城町	5,404	20
多気町	5,124	21
南伊勢町	4,977	22
紀宝町	4,724	23
朝日町	4,112	24
御浜町	3,711	25
大台町	3,639	26
大紀町	3,404	27
度会町	2,689	28
木曽岬町	2,208	29
三重県	742,598	

● 世帯数

令和2年10月1日



国勢調査による令和2年の三重県の世帯数は742,598世帯で、平成27年から3.1%増加しています。  
 県内では、四日市市、津市、鈴鹿市の順に世帯数が多く、上位6市で県全体の約68%を占めています。

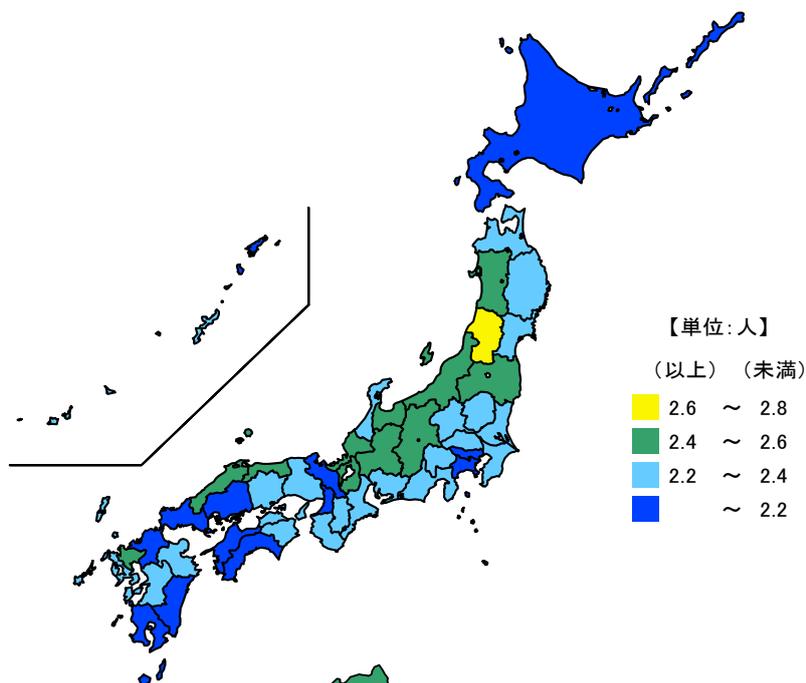
【資料出所】  
 総務省統計局「国勢調査」

## ● 一般世帯の1世帯あたり人員

令和2年10月1日

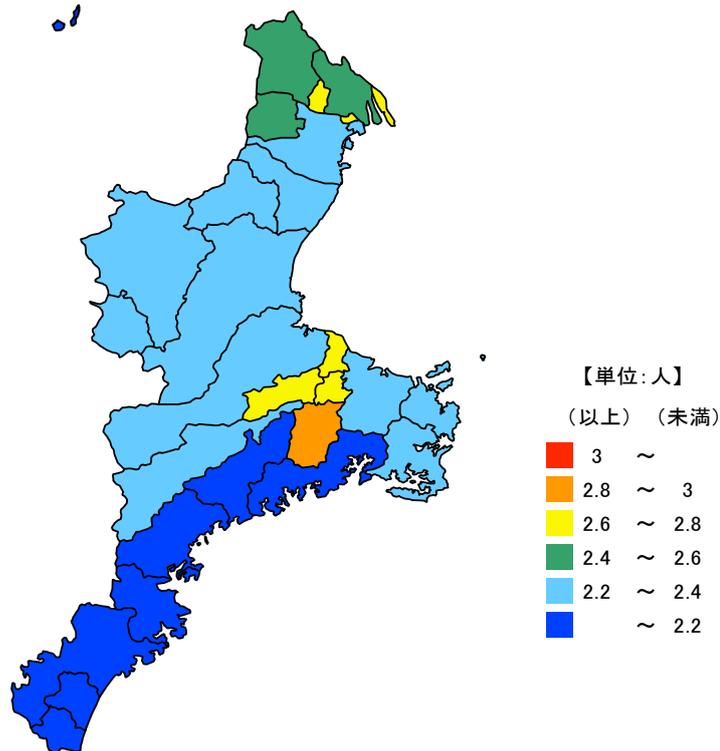
単位：人

都道府県	値	順位
全 国	2.21	
山 形 県	2.61	1
福 井 県	2.57	2
佐 賀 県	2.51	3
富 山 県	2.50	4
岐 阜 県	2.49	5
三 重 県	2.33	24
高 知 県	2.11	43
鹿 児 島 県	2.11	44
大 阪 府	2.10	45
北 海 道	2.04	46
東 京 都	1.92	47



単位：人

市 町	値	順位
度 会 町	2.82	1
玉 城 町	2.71	2
明 和 町	2.70	3
木 曾 岬 町	2.67	4
多 気 町	2.65	5
朝 日 町	2.65	6
東 員 町	2.63	7
菰 野 町	2.58	8
いなべ市	2.44	9
桑 名 市	2.42	10
亀 山 市	2.38	11
名 張 市	2.38	12
松 阪 市	2.37	13
伊 賀 市	2.36	14
鈴 鹿 市	2.34	15
伊 勢 市	2.32	16
志 摩 市	2.29	17
鳥 羽 市	2.28	18
大 台 町	2.28	19
川 越 町	2.27	20
津 市	2.26	21
四 日 市 市	2.26	22
大 紀 町	2.17	23
紀 宝 町	2.14	24
南 伊 勢 町	2.14	25
御 浜 町	2.10	26
紀 北 町	2.03	27
熊 野 市	1.97	28
尾 鷲 市	1.94	29



令和2年の三重県の一般世帯の1世帯あたり人員は2.33人で、全国順位は24位となっています。

県内では度会町、玉城町、明和町の順に多くなっています。一方、尾鷲市、熊野市、紀北町等、東紀州地域の市町が少なくなっています。

## 【資料出所】

総務省統計局「国勢調査」

## 【算出方法】

一般世帯人員÷一般世帯数

## 【備考】

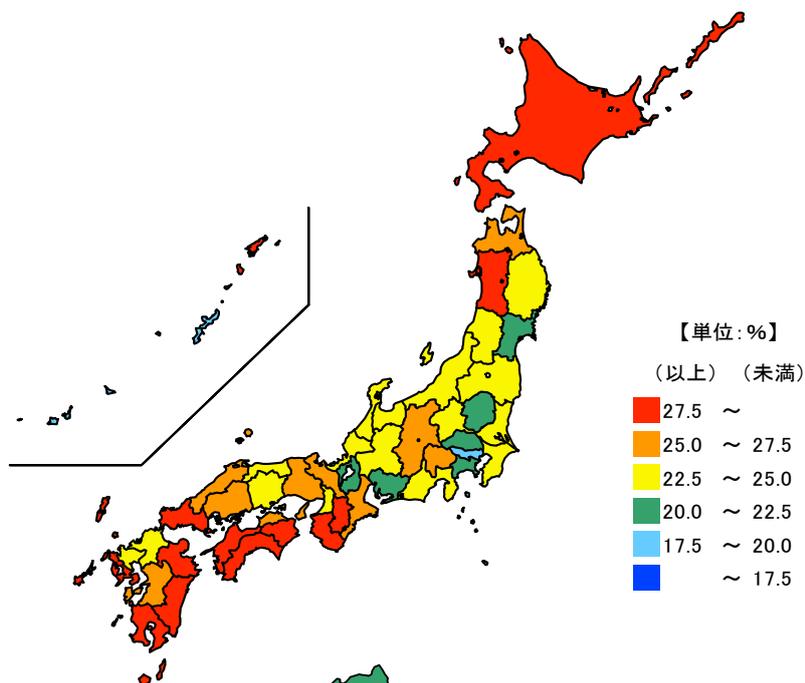
一般世帯とは、住居と生計を共にしている人々の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者などをいう。

## ● 高齢者のみの世帯割合

令和2年10月1日

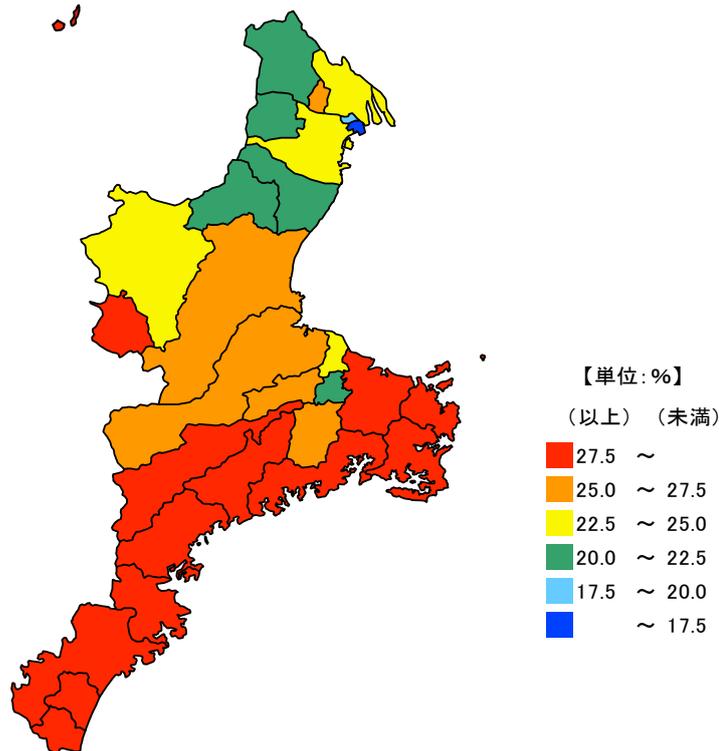
単位：％

都道府県	値	順位
全 国	23.8	
和歌山県	31.4	1
高知県	31.4	2
鹿児島県	31.3	3
山口県	31.3	4
宮崎県	29.9	5
三重県	25.8	20
滋賀県	21.7	43
愛知県	20.9	44
宮城県	20.4	45
沖縄県	19.4	46
東京都	19.1	47



単位：％

市 町	値	順位
南伊勢町	48.9	1
大紀町	47.1	2
熊野市	45.8	3
紀北町	43.1	4
尾鷲市	42.6	5
御浜町	42.5	6
大台町	41.3	7
紀宝町	38.7	8
志摩市	35.0	9
鳥羽市	33.7	10
名張市	29.7	11
伊勢市	28.8	12
東員町	27.3	13
多気町	27.3	14
度会町	26.7	15
松阪市	26.5	16
津市	26.2	17
伊賀市	24.8	18
明和町	24.6	19
木曾岬町	23.9	20
桑名市	23.7	21
四日市市	22.6	22
玉城町	22.4	23
菰野町	22.2	24
亀山市	20.7	25
鈴鹿市	20.2	26
いなべ市	20.2	27
朝日町	18.5	28
川越町	14.8	29



令和2年の三重県の高齢者のみの世帯割合は25.8%で、全国順位は20位となっています。

県内では県南部地域で高くなっており、南伊勢町、大紀町、熊野市で45%を超えるなど、10市町で30%を超えています。一方、川越町、朝日町等は低くなっています。

## 【資料出所】

総務省統計局「国勢調査」

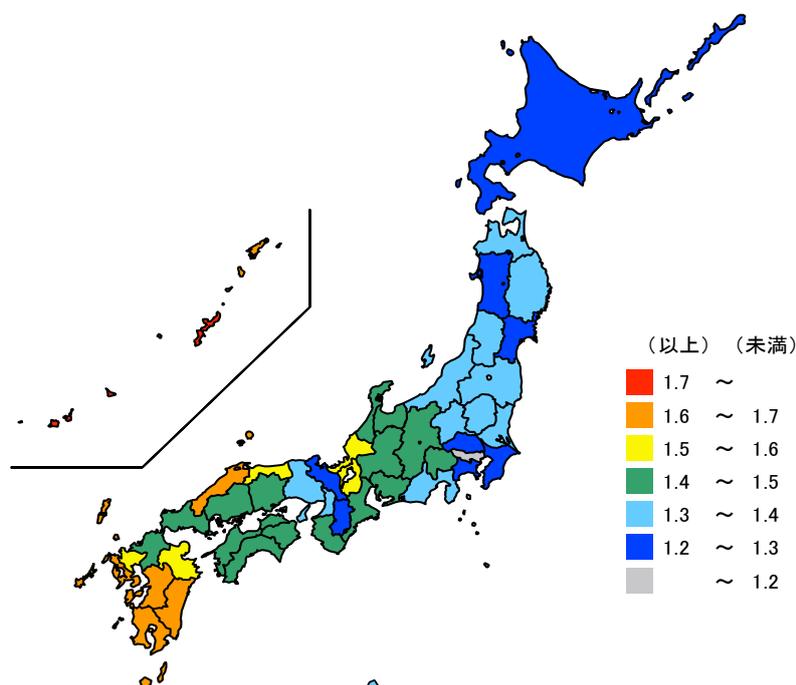
## 【算出方法】

$$(65歳以上の高齢単身者世帯 + 夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯) \div \text{一般世帯}$$

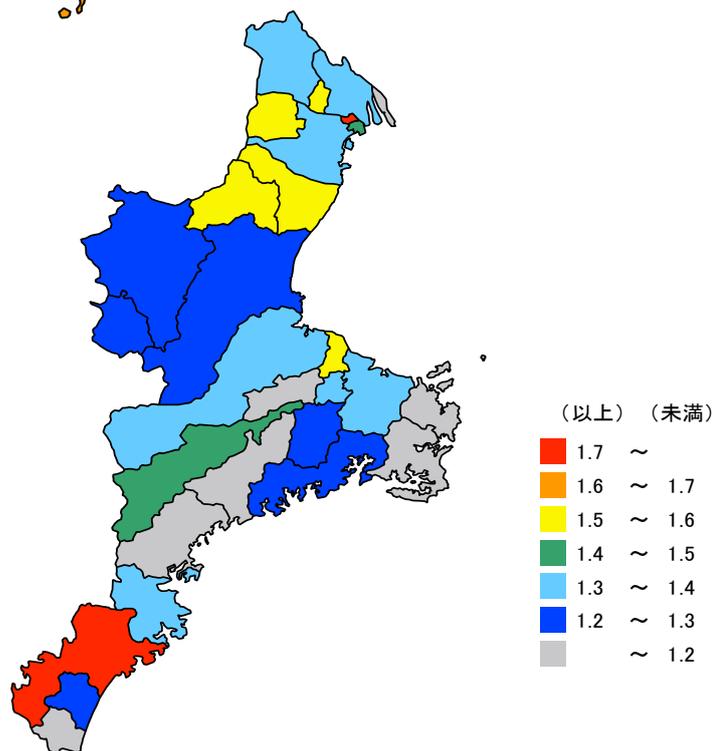
## ● 合計特殊出生率

令和2年

都道府県	値	順位
全 国	1.33	
沖 縄 県	1.83	1
宮 崎 県	1.65	2
長 崎 県	1.61	3
鹿 児 島 県	1.61	4
熊 本 県	1.60	5
三 重 県	1.42	25
神 奈 川 県	1.26	43
秋 田 県	1.24	44
北 海 道	1.21	45
宮 城 県	1.20	46
東 京 都	1.12	47



市 町	値	順位
熊 野 市	1.75	1
朝 日 町	1.74	2
菰 野 町	1.58	3
亀 山 市	1.55	4
明 和 町	1.53	5
鈴 鹿 市	1.53	6
東 員 町	1.52	7
川 越 町	1.49	8
大 台 町	1.44	9
松 阪 市	1.39	10
玉 城 町	1.39	11
伊 勢 市	1.38	12
四 日 市 市	1.35	13
い な べ 市	1.34	14
尾 鷲 市	1.34	15
桑 名 市	1.32	16
津 市	1.29	17
伊 賀 市	1.29	18
南 伊 勢 町	1.28	19
名 張 市	1.24	20
御 浜 町	1.21	21
度 会 町	1.21	22
志 摩 市	1.19	23
紀 宝 町	1.18	24
大 紀 町	1.12	25
多 気 町	1.11	26
鳥 羽 市	1.07	27
紀 北 町	0.96	28
木 曽 岬 町	0.85	29



令和2年の三重県の合計特殊出生率は1.42で、全国順位は25位となっています。

県内では、熊野市、朝日町等で高くなっています。一方、木曽岬町、紀北町等は低くなっています。

## 【資料出所】

全国・都道府県：厚生労働省「人口動態統計」

三重県市町：厚生労働省「人口動態統計」 総務省統計局「国勢調査」

【算出方法】 三重県市町：(15歳から49歳までの女性の5歳階級年齢別各出生数÷同5歳階級別各人口×5)の合計

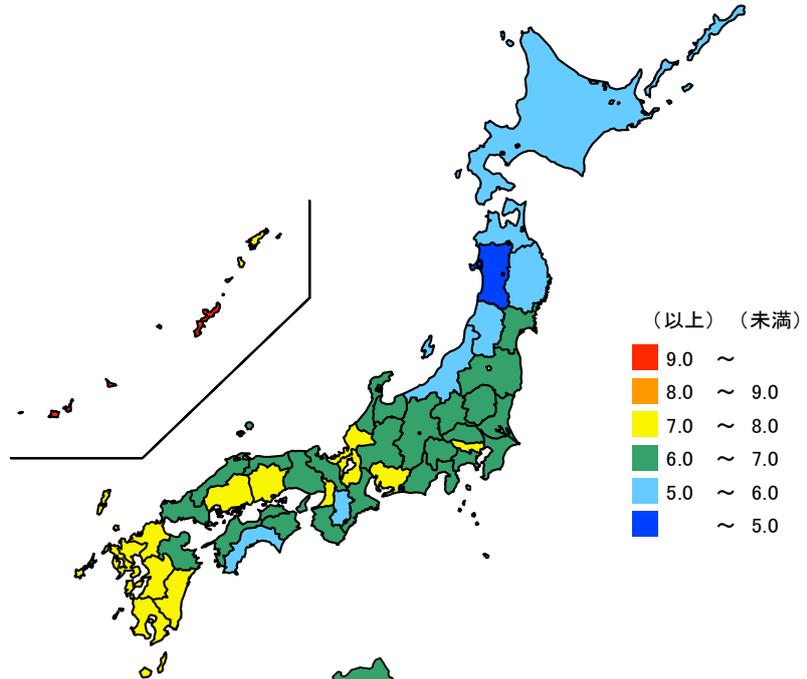
## 【備考】

合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

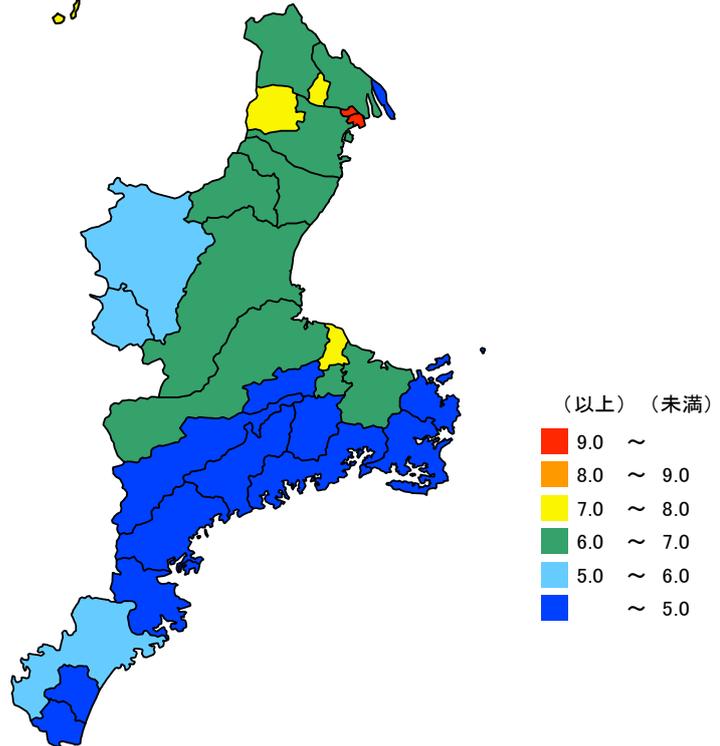
● 出生率(人口千人当たり)

令和2年

都道府県	値	順位
全 国	6.8	
沖 縄 県	10.3	1
福 岡 県	7.7	2
愛 知 県	7.6	3
滋 賀 県	7.6	4
熊 本 県	7.6	5
三 重 県	6.5	26
山 形 県	5.9	43
北 海 道	5.7	44
岩 手 県	5.6	45
青 森 県	5.5	46
秋 田 県	4.7	47



市 町	値	順位
川 越 町	9.5	1
朝 日 町	9.2	2
菰 野 町	7.7	3
東 員 町	7.3	4
明 和 町	7.3	5
四 日 市 市	6.9	6
鈴 鹿 市	6.9	7
亀 山 市	6.8	8
松 阪 市	6.7	9
桑 名 市	6.5	10
玉 城 町	6.4	11
い な べ 市	6.3	12
伊 勢 市	6.2	13
津 市	6.2	14
伊 賀 市	5.6	15
名 張 市	5.5	16
熊 野 市	5.3	17
紀 宝 町	4.7	18
度 会 町	4.6	19
大 台 町	4.5	20
多 気 町	4.5	21
尾 鷲 市	3.9	22
鳥 羽 市	3.9	23
志 摩 市	3.9	24
御 浜 町	3.5	25
木 曾 岬 町	3.2	26
南 伊 勢 町	2.9	27
紀 北 町	2.7	28
大 紀 町	2.6	29



令和2年の三重県の出生率(人口千人当たり)は6.5で、全国順位は26位となっています。

県内では川越町、朝日町、菰野町の順に高くなっています。一方、大紀町、紀北町、南伊勢町等は低くなっています。

## 【資料出所】

全国・都道府県:厚生労働省「人口動態統計」

三重県市町:厚生労働省「人口動態統計」

三重県市町の総人口:総務省統計局「国勢調査」

## 【算出方法】

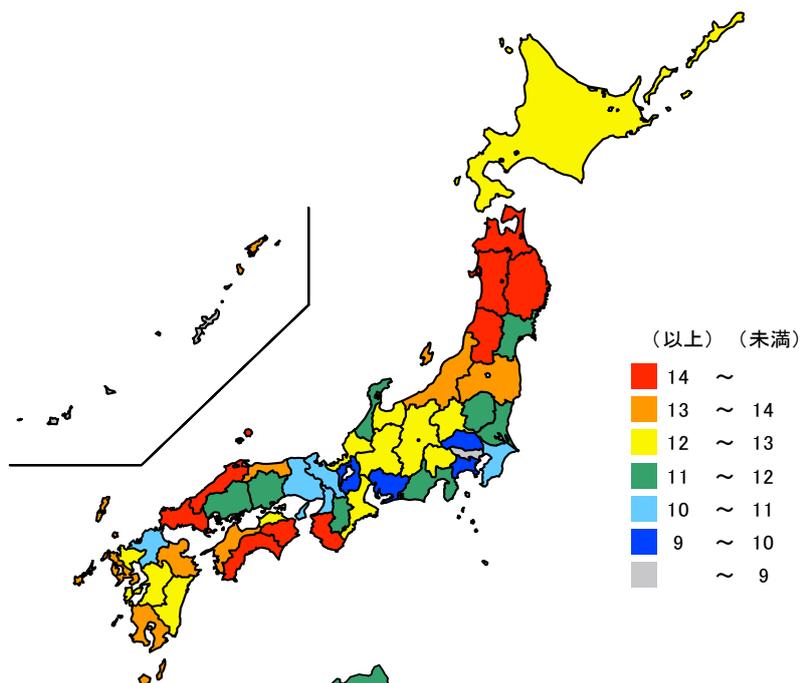
全国・都道府県:出生数÷日本人人口×1,000

三重県市町:出生数÷総人口×1,000

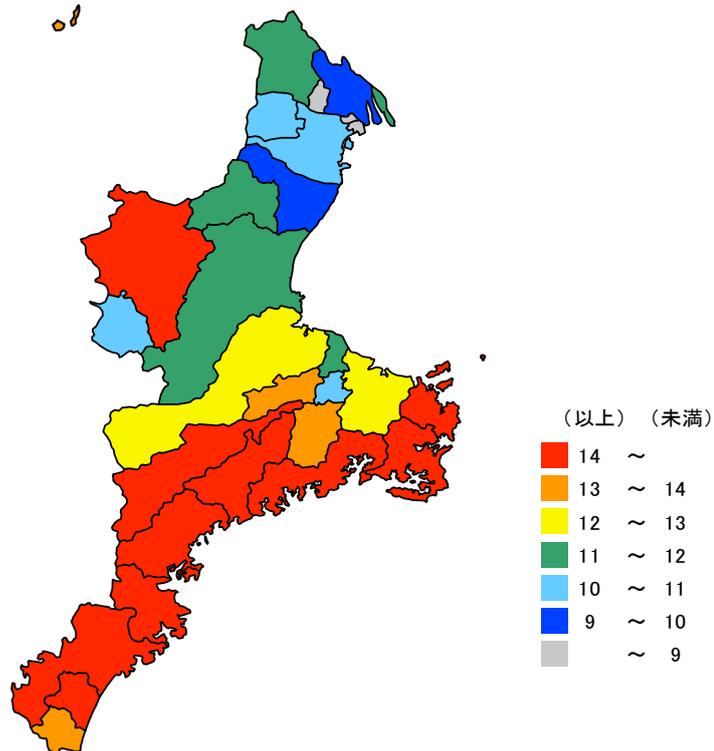
● 死亡率(人口千人当たり)

令和2年

都道府県	値	順位
全 国	11.2	
秋 田 県	16.5	1
高 知 県	15.0	2
青 森 県	15.0	3
山 形 県	14.8	4
岩 手 県	14.8	5
三 重 県	12.1	28
愛 知 県	9.6	43
滋 賀 県	9.6	44
神 奈 川 県	9.3	45
東 京 都	9.0	46
沖 縄 県	8.6	47



市 町	値	順位
大 紀 町	24.8	1
南伊勢町	24.0	2
紀 北 町	23.5	3
大 台 町	21.0	4
尾 鷲 市	18.9	5
御 浜 町	17.9	6
熊 野 市	17.9	7
志 摩 市	17.3	8
鳥 羽 市	16.9	9
伊 賀 市	14.2	10
紀 宝 町	14.0	11
多 気 町	13.6	12
度 会 町	13.5	13
伊 勢 市	12.3	14
松 阪 市	12.1	15
津 市	11.8	16
明 和 町	11.6	17
木 曽 岬 町	11.3	18
亀 山 市	11.1	19
いなべ市	11.1	20
名 張 市	10.6	21
四 日 市 市	10.3	22
菰 野 町	10.3	23
玉 城 町	10.0	24
桑 名 市	9.8	25
鈴 鹿 市	9.3	26
東 員 町	8.7	27
朝 日 町	8.5	28
川 越 町	8.0	29



令和2年の三重県の死亡率(人口千人当たり)は12.1で、全国順位は28位となっています。

県内では、大紀町、南伊勢町等4町で20.0を上回っています。一方、川越町、朝日町等5市町では10.0未満となっています。

## 【資料出所】

全国・都道府県:厚生労働省「人口動態統計」

三重県市町:厚生労働省「人口動態統計」

三重県市町の総人口:総務省統計局「国勢調査」

## 【算出方法】

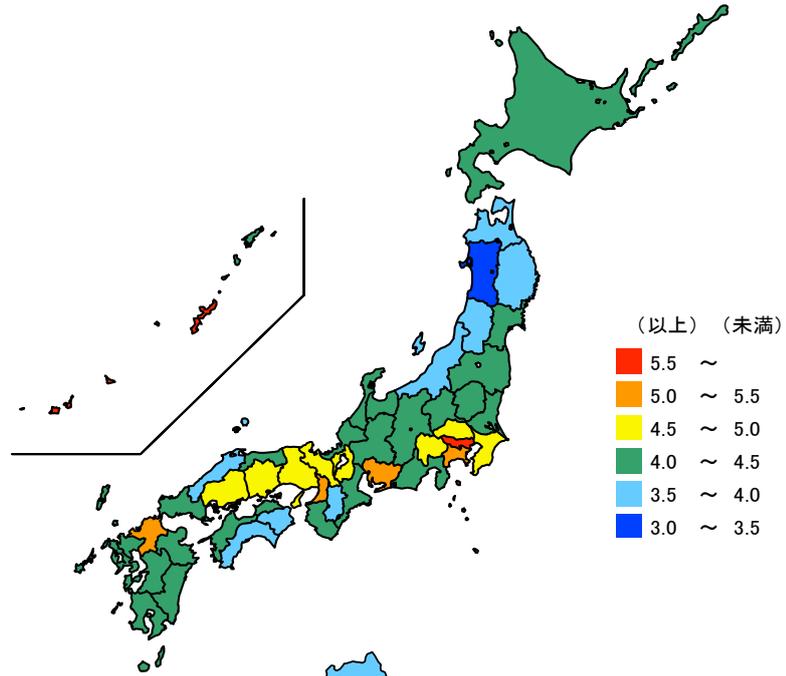
全国・都道府県:死亡数÷日本人人口×1,000

三重県市町:死亡数÷総人口×1,000

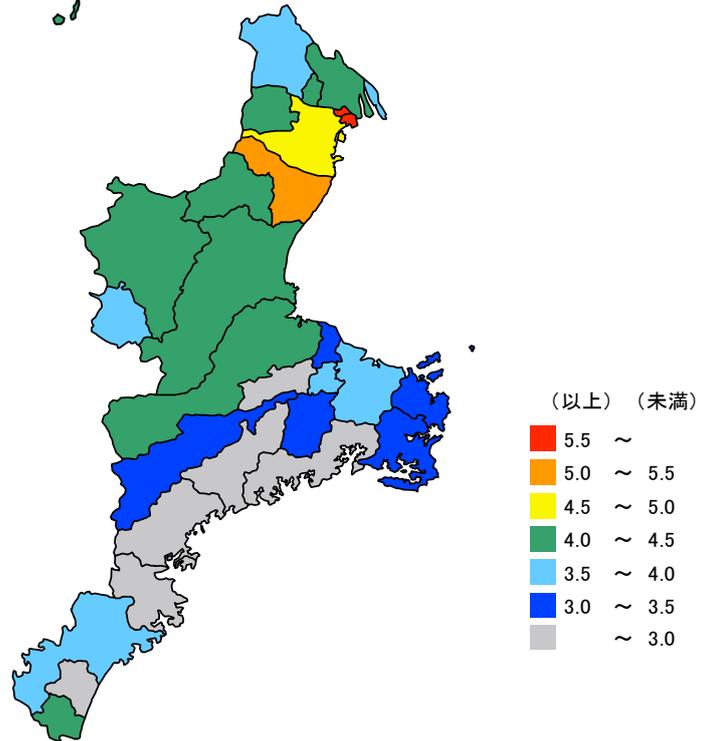
● 婚姻率(人口千人当たり)

平成31/令和元年

都道府県	値	順位
全 国	4.8	
東京都	6.4	1
沖縄県	5.6	2
愛知県	5.5	3
大阪府	5.4	4
福岡県	5.1	5
三重県	4.5	18
高知県	3.8	43
山形県	3.8	44
青森県	3.7	45
岩手県	3.7	46
秋田県	3.3	47



市 町	値	順位
川越町	8.4	1
朝日町	5.8	2
鈴鹿市	5.3	3
四日市市	5.0	4
松阪市	4.4	5
津市	4.3	6
亀山市	4.3	7
桑名市	4.2	8
東員町	4.2	9
伊賀市	4.2	10
紀宝町	4.1	11
菰野町	4.0	12
名張市	4.0	13
伊勢市	4.0	14
玉城町	3.9	15
木曾岬町	3.7	16
いなべ市	3.6	17
熊野市	3.6	18
大台町	3.5	19
明和町	3.3	20
度会町	3.2	21
志摩市	3.0	22
鳥羽市	3.0	23
紀北町	3.0	24
尾鷲市	2.9	25
多気町	2.6	26
南伊勢町	2.4	27
御浜町	2.2	28
大紀町	1.9	29



平成31/令和元年の三重県の婚姻率(人口千人当たり)は4.5で、全国順位は18位となっています。

県内では、川越町、朝日町、鈴鹿市の順に高く、一方、大紀町、御浜町、南伊勢町等は低くなっています。

## 【資料出所】

全国・都道府県：厚生労働省「人口動態統計」

三重県市町：三重県医療保健部医療保健総務課「三重県の人口動態」

## 【算出方法】

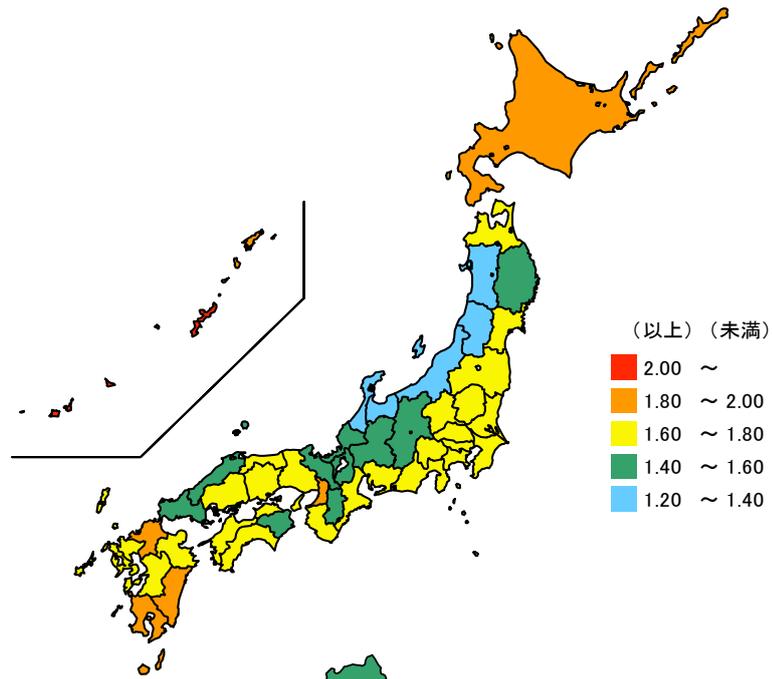
全国・都道府県：婚姻件数÷日本人人口×1,000

三重県市町：婚姻件数÷総人口×1,000

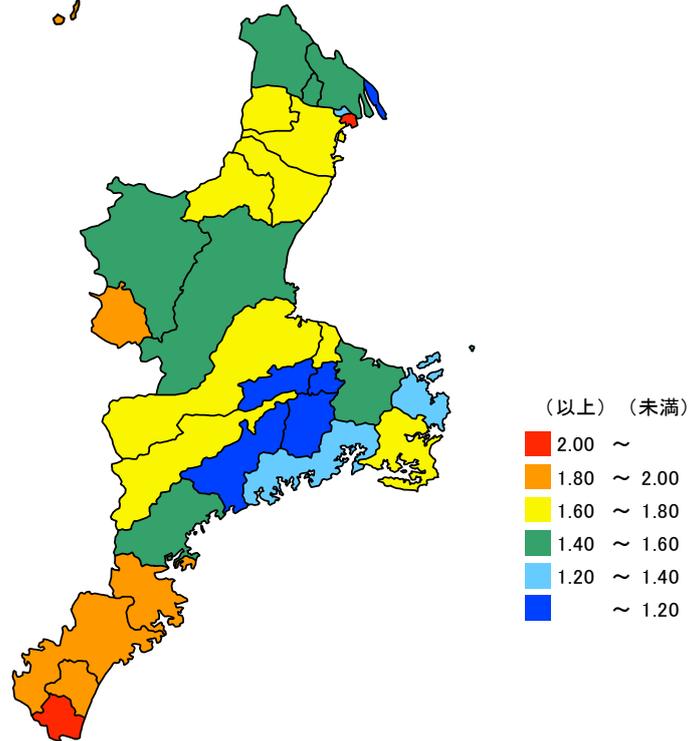
● 離婚率(人口千人当たり)

平成31/令和元年

都道府県	値	順位
全 国	1.69	
沖縄県	2.52	1
福岡県	1.94	2
宮崎県	1.92	3
大阪府	1.89	4
北海道	1.89	5
三重県	1.65	22
石川県	1.36	43
山形県	1.34	44
秋田県	1.33	45
富山県	1.29	46
新潟県	1.28	47



市 町	値	順位
川越町	3.12	1
紀宝町	2.37	2
御浜町	1.97	3
尾鷲市	1.95	4
熊野市	1.93	5
名張市	1.89	6
明和町	1.77	7
亀山市	1.76	8
菰野町	1.76	9
鈴鹿市	1.69	10
大台町	1.69	11
松阪市	1.66	12
四日市市	1.65	13
志摩市	1.65	14
伊賀市	1.55	15
桑名市	1.51	16
津市	1.50	17
紀北町	1.48	18
伊勢市	1.46	19
東員町	1.45	20
いなべ市	1.43	21
鳥羽市	1.34	22
南伊勢町	1.34	23
朝日町	1.28	24
多気町	1.19	25
木曾岬町	1.14	26
玉城町	0.92	27
大紀町	0.88	28
度会町	0.76	29



平成31/令和元年の三重県の離婚率(人口千人当たり)は1.65で、全国順位は22位となっています。  
県内では、川越町、紀宝町、御浜町の順に高く、一方、度会町、大紀町、玉城町等は低くなっています。

## 【資料出所】

全国・都道府県:厚生労働省「人口動態統計」

三重県市町:三重県医療保健部医療保健総務課「三重県の人口動態」

## 【算出方法】

全国・都道府県:離婚件数÷日本人人口×1,000

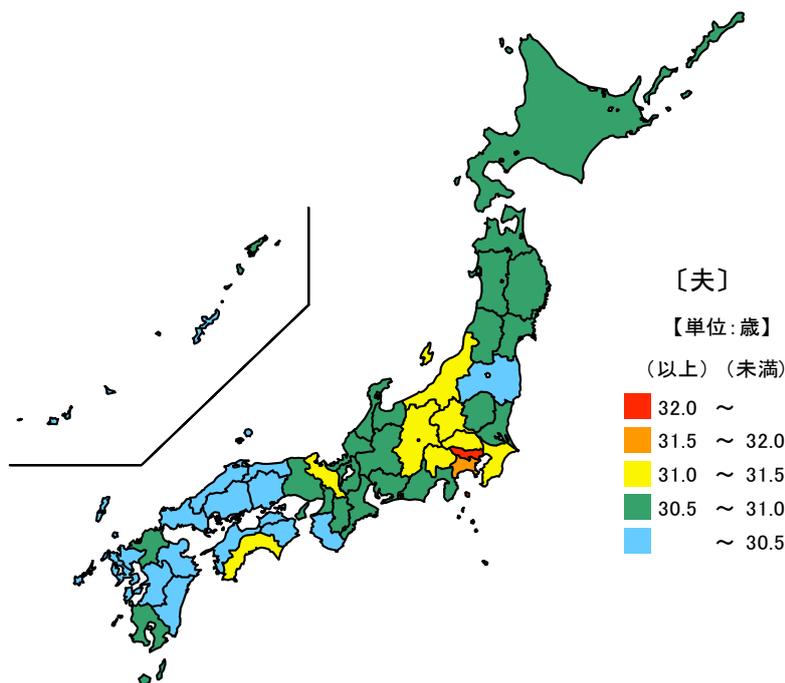
三重県市町:離婚件数÷総人口×1,000

## ● 平均初婚年齢

令和2年

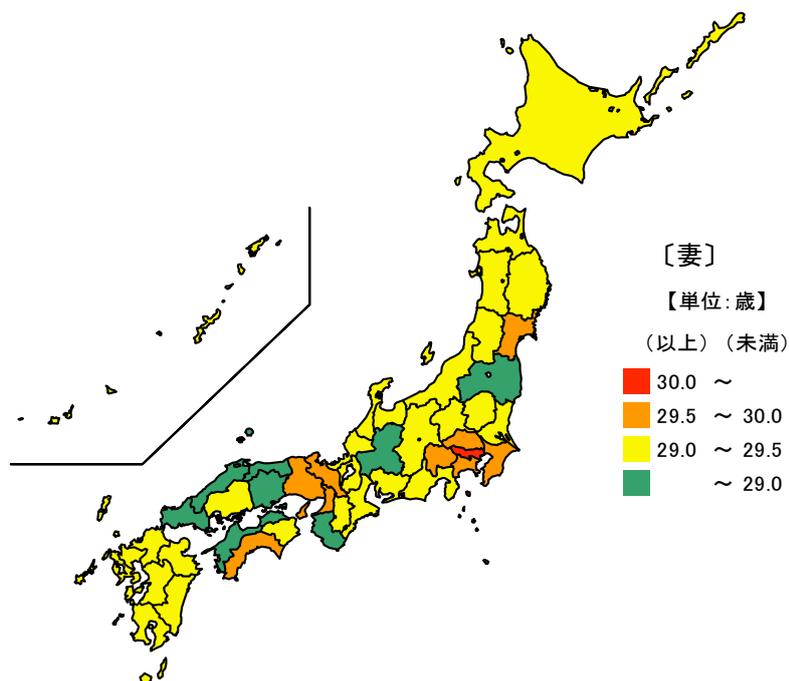
夫 単位：歳

都道府県	値	順位
全 国	31.0	
東 京 都	32.1	1
神 奈 川 県	31.7	2
埼 玉 県	31.4	3
山 梨 県	31.4	3
千 葉 県	31.3	5
三 重 県	30.6	23
和 歌 山 県	30.1	43
岡 山 県	30.1	43
愛 媛 県	30.1	43
山 口 県	30.0	46
沖 縄 県	30.0	46



妻 単位：歳

都道府県	値	順位
全 国	29.4	
東 京 都	30.4	1
神 奈 川 県	29.9	2
京 都 府	29.7	3
宮 城 県	29.6	4
埼 玉 県	29.6	4
千 葉 県	29.6	4
高 知 県	29.6	4
三 重 県	29.0	32
福 島 県	28.8	42
和 歌 山 県	28.8	42
愛 媛 県	28.8	42
鳥 取 県	28.7	45
岡 山 県	28.7	45
山 口 県	28.7	45



令和2年の三重県の初婚の夫及び妻の平均婚姻年齢は、夫が30.6歳、妻が29.0歳で、年齢の高い方からの全国順位は夫が23位、妻が32位となっています。

## 【資料出所】

厚生労働省「人口動態統計」

## 【備考】

結婚式をあげたときまたは同居を始めたときのうち早いほうの年齢による。

## ● 未婚率(25歳～39歳)[男]

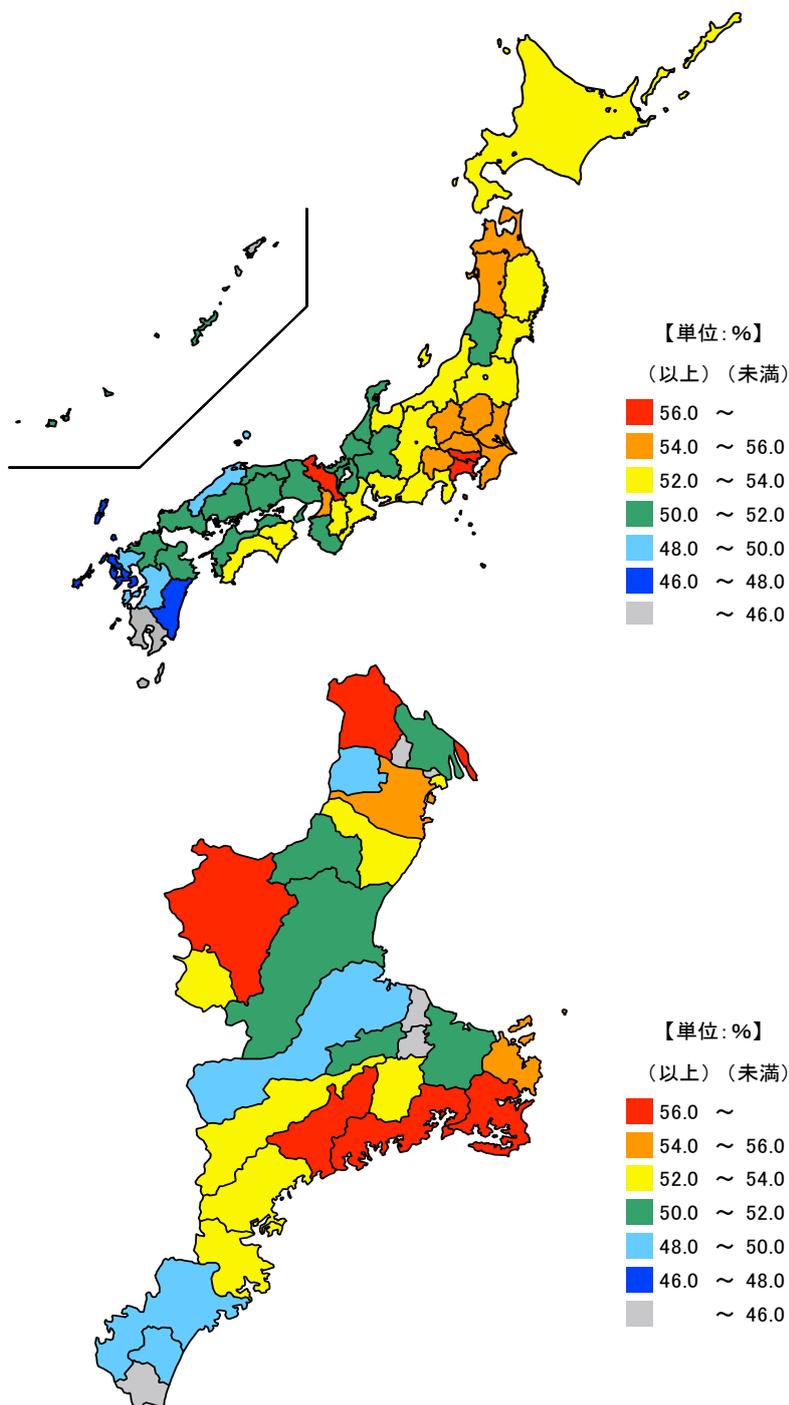
令和2年10月1日

単位：％

都道府県	値	順位
全 国	54.6	
東京都	61.7	1
神奈川県	57.4	2
京都府	57.4	3
千葉県	55.8	4
埼玉県	55.4	5
三重県	52.7	24
佐賀県	48.4	43
熊本県	48.2	44
長崎県	47.3	45
宮崎県	47.0	46
鹿児島県	45.9	47

単位：％

市 町	値	順位
木曾岬町	64.2	1
南伊勢町	63.6	2
いなべ市	58.5	3
大紀町	56.9	4
志摩市	56.8	5
伊賀市	56.7	6
鳥羽市	55.9	7
四日市市	55.7	8
度会町	53.9	9
紀北町	53.8	10
川越町	53.7	11
尾鷲市	53.4	12
大台町	53.1	13
鈴鹿市	52.8	14
名張市	52.2	15
桑名市	51.6	16
伊勢市	51.6	17
津市	51.5	18
多気町	51.0	19
亀山市	50.4	20
松阪市	49.9	21
御浜町	49.4	22
菟野町	48.6	23
熊野市	48.2	24
玉城町	45.5	25
東員町	44.5	26
紀宝町	43.8	27
明和町	43.0	28
朝日町	39.8	29



令和2年10月1日現在の三重県の25～39歳の男の未婚率は52.7%で、全国順位は24位となっています。

県内では、最も低いのは朝日町で、39.8%となっています。一方、木曾岬町、南伊勢町、いなべ市等20市町が50%を上回っています。

## 【資料出所】

総務省統計局「国勢調査」(不詳補完値)

## 【算出方法】

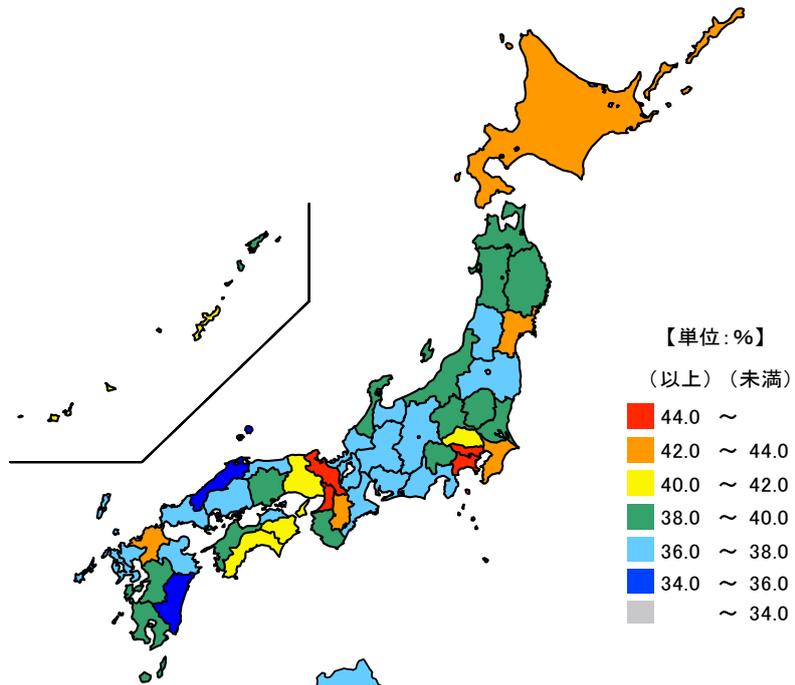
未婚人口(25～39歳)[男]÷人口(25～39歳)[男]×100

## ● 未婚率(25歳～39歳)〔女〕

令和2年10月1日

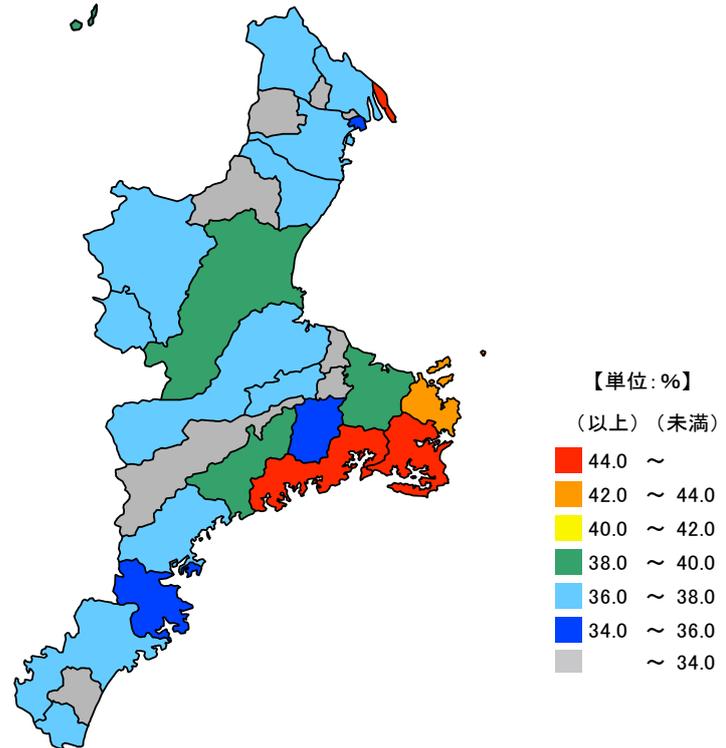
単位：％

都道府県	値	順位
全 国	42.4	
東 京 都	52.2	1
京 都 府	47.5	2
大 阪 府	46.1	3
神 奈 川 県	44.0	4
福 岡 県	43.6	5
三 重 県	37.0	39
岐 阜 県	36.4	43
山 形 県	36.3	44
福 井 県	36.3	45
宮 崎 県	36.0	46
島 根 県	35.6	47



単位：％

市 町	値	順位
木曾岬町	49.0	1
志摩市	44.3	2
南伊勢町	44.3	3
鳥羽市	43.0	4
大紀町	39.9	5
津市	38.6	6
伊勢市	38.4	7
伊賀市	37.9	8
いなべ市	37.8	9
桑名市	37.5	10
四日市市	37.3	11
鈴鹿市	37.1	12
紀北町	36.8	13
多気町	36.8	14
名張市	36.4	15
松阪市	36.4	16
紀宝町	36.3	17
熊野市	36.3	18
川越町	34.9	19
度会町	34.9	20
尾鷲市	34.5	21
大台町	33.6	22
明和町	32.6	23
龜山市	32.3	24
菟野町	31.9	25
東員町	30.0	26
御浜町	29.5	27
玉城町	28.5	28
朝日町	25.7	29



令和2年10月1日現在の三重県の25～39歳の女の未婚率は37.0%で、全国順位は39位となっています。

県内では、4市町が全国平均を上回っています。一方、最も低いのは朝日町で、25.7%となっています。

## 【資料出所】

総務省統計局「国勢調査」(不詳補完値)

## 【算出方法】

未婚人口(25～39歳)〔女〕÷人口(25～39歳)〔女〕×100